

[令和5年度]
全国少年消防クラブ
交流大会の記録

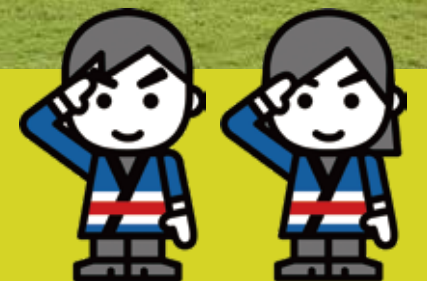


[令和5年度] 全国少年消防クラブ交流大会の記録



「令和5年度」全国少年消防クラブ交流大会の記録

令和5年9月16日(土)～17日(日)



目次①

令和5年度 全国少年消防クラブ交流大会の記録

まえがき 4

概要&スケジュール 6

参加クラブ一覧 7

記録① 8

記録② 9

合同訓練の概要 11

参加クラブの記録(全37クラブ)

 伏古本町ひまわり少年消防クラブ 14

 歌津中学校少年防災クラブ 16

 三郷市少年消防クラブ 18

 浦安市少年消防団 20

 本郷消防少年団 22

 日本堤消防少年団 24

 向島消防少年団 26

 蒲田消防少年団 28

 矢口消防少年団 30

 豊島消防少年団 32

 本田消防少年団 34

 葛西消防少年団 36

 八王子消防少年団 38

 町田消防少年団 40

 秋川消防少年団 42

 Risk Watch Yokohama Fire Team 44

 大和市少年消防団 46

目次②

令和5年度 全国少年消防クラブ交流大会の記録

新神田校下子ども消防クラブ 48

豊田市立寿恵野小学校少年消防クラブ 50

尾張旭市少年少女消防団 52

河南町ファイアジュニア 54

魚崎ジュニア防災チーム 56

たつの・太子少年消防クラブ 58

米子市消防団少年消防クラブ 60

元宇品学区少年消防クラブ 62

青崎地区少年消防クラブ 64

比治山学区少年少女消防クラブ 66

三原市立沼田東小学校少年消防クラブ 68

三原市Brave Fire Club 70

府中町少年少女消防クラブ 72

美馬市少年少女消防クラブ 74

南国市少年消防クラブ 76

吉川こども防災クラブ Ark Crew 78

高見少年消防クラブ 80

唐津市鏡少年消防クラブ 82

ひかり児童館少年消防クラブ 84

西瀬少年消防クラブ 86

写真集

 交流大会のおもいで① 90

 交流大会のおもいで② 92

 交流大会のおもいで③ 94

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、令和4年5月1日現在、全国に4,150団体、約39万人のクラブ員が活動しています。

少年消防クラブ員は、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関する様々な訓練の実施、講習会等への参加、火災予防ポスターの作成、防火パトロールや防火・防災に関する研究発表会の実施などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

地震や風水害など多くの自然災害が発生する我が国において、少年消防クラブ員には、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されています。このことを踏まえ消防庁では、将来の地域防災の担い手育成を図るため、少年消防クラブ員が消防の実践的な活動を取り入れた訓練等を通じて、他の地域の少年消防クラブ員と親交を深めることを目的とした「全国少年消防クラブ交流大会」を平成24年度から開催しています。令和2年度から令和4年度までの間は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止としていたことから、今年度は4年ぶりの開催となりました。

今年の交流大会は、鳥取県米子市で開催し、全国の少年消防クラブから37クラブ（クラブ員196名、指導者58名、合計254名）が参加しました。1日目は、オリエンテーションやクラブ紹介、地元郷土芸能鑑賞を通して、全国のクラブ員と交流を深めました。また、クラブ員同士で名刺を交換する様子も見られました。2日目は、天候にも恵まれたことから、消防の実践的な活動を取り入れた合同訓練を、熱中症対策に十分配慮の上、屋外施設を使用して実施しました。

この交流大会で経験したことがクラブ員のさらなる意識高揚につながり、今後の少年消防クラブ活動において大いに活躍され、地域防災の担い手として成長されることを期待しています。

この記録誌は、交流大会に参加したクラブ員の感想等をまとめたものです。交流大会を通して感じたこと、今後の抱負など、クラブ員の熱い気持ちが綴られています。ぜひ、ご一読いただき、少年消防クラブ活動の参考としていただければ幸いです。

交流大会における各活動行事については、開催地である鳥取県をはじめ、県内の消防本部・消防団、女性防火クラブ、各施設の職員の方々や、参加クラブ（クラブ員・指導者、事務担当消防本部等）の皆さまなど多くの方々のご支援・ご協力により、すべての行程を無事に終えることができました。

結びに、交流大会の開催にあたりご尽力いただきました鳥取県、米子市、公益財団法人鳥取県消防協会、公益財団法人日本消防協会、一般財団法人日本防火・防災協会の関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室



[令和5年度] 全国少年消防クラブ交流大会の記録

令和5年度 全国少年消防クラブ交流大会の概要

- 【 日 程 】 令和5年9月16日(土)～9月17日(日)
- 【 主 催 】 消防庁
- 【 共 催 】 鳥取県、米子市、(公財)鳥取県消防協会、(公財)日本消防協会、
(一財)日本防火・防災協会
- 【参加クラブ】 全国の少年消防クラブから応募のあった37クラブ
(クラブ員196名、指導者58名、計254名)

令和5年度 全国少年消防クラブ交流大会スケジュール

会場:皆生グランドホテル天水

9月16日
(土)

時 間	内 容
15:00～ 17:30	受付
	防災VR体験、入浴 等
17:40～ 19:00	オリエンテーション、クラブ紹介
19:00～ 19:50	夕食、郷土芸能鑑賞

会場:どらドラパーク米子陸上競技場

9月17日
(日)

時 間	内 容
7:40～ 8:15	ホテル ⇒ 陸上競技場
8:25～ 8:45	リハーサル
8:45～ 9:15	開会式
9:15～ 10:35	合同訓練(クラブ対抗リレー)
10:35～ 10:50	休憩
10:50～ 11:30	合同訓練(クラブ対抗障害物競走)
11:30～ 12:00	閉会式
12:00～ 12:45	昼食
12:45	解散

No	都道府県	市町村区	クラブ名
1	北海道	札幌市	伏古本町ひまわり少年消防クラブ
2	宮城県	本吉郡南三陸町	歌津中学校少年防災クラブ
3	埼玉県	三郷市	三郷市少年消防クラブ
4	千葉県	浦安市	浦安市少年消防団
5	東京都	文京区	本郷消防少年団
6	東京都	台東区	日本堤消防少年団
7	東京都	墨田区	向島消防少年団
8	東京都	大田区	蒲田消防少年団
9	東京都	大田区	矢口消防少年団
10	東京都	豊島区	豊島消防少年団
11	東京都	葛飾区	本田消防少年団
12	東京都	江戸川区	葛西消防少年団
13	東京都	八王子市	八王子消防少年団
14	東京都	町田市	町田消防少年団
15	東京都	あきる野市	秋川消防少年団
16	神奈川県	横浜市	Risk Watch Yokohama Fire Team
17	神奈川県	大和市	大和市少年消防団
18	石川県	金沢市	新神田校下子ども消防クラブ
19	愛知県	豊田市	豊田市立寿恵野小学校少年消防クラブ
20	愛知県	尾張旭市	尾張旭市少年少女消防団
21	大阪府	南河内郡河南町	河南町ファイアジュニア
22	兵庫県	神戸市	魚崎ジュニア防災チーム
23	兵庫県	揖保郡太子町	たつの・太子少年消防クラブ
24	鳥取県	米子市	米子市消防団少年消防クラブ
25	広島県	広島市	元宇品学区少年消防クラブ
26	広島県	広島市	青崎地区少年消防クラブ
27	広島県	広島市	比治山学区少年少女消防クラブ
28	広島県	三原市	三原市立沼田東小学校少年消防クラブ
29	広島県	三原市	三原市Brave Fire Club
30	広島県	安芸郡府中町	府中町少年少女消防クラブ
31	徳島県	美馬市	美馬市少年少女消防クラブ
32	高知県	南国市	南国市少年消防クラブ
33	高知県	香南市	吉川こども防災クラブ Ark Crew
34	福岡県	北九州市	高見少年消防クラブ
35	佐賀県	唐津市	唐津市鏡少年消防クラブ
36	熊本県	八代市	ひかり児童館少年消防クラブ
37	熊本県	人吉市	西瀬少年消防クラブ

1日目

9月16日(土)

15:00～	防災VR体験
17:40～	オリエンテーション
18:00～	クラブ紹介
19:00～	夕食 郷土芸能鑑賞

交流大会の1日目は、オリエンテーションと各クラブの自己紹介を行いました。また、「米子がいな太鼓保存会」の方々に、鳥取県米子市の郷土芸能である「米子がいな太鼓」の演奏を披露していただきました。



■主催者挨拶
消防庁国民保護・防災部防災課地域防災室
志賀 真幸 室長



■来賓挨拶
鳥取県
平井 伸治 知事



■来賓挨拶
米子市
伊木 隆司 市長



■防災VR体験



■クラブ紹介



■郷土芸能鑑賞
米子がいな太鼓保存会
『米子がいな太鼓』

2日目

9月17日(日)

8:25～	リハーサル
8:45～	開会式
9:15～	合同訓練 クラブ対抗リレー
10:50～	合同訓練 クラブ対抗障害物競走
11:30～	閉会式

2日目は、消防ホースの展張やロープの結索などの消防の実践的な活動を取り入れた競技形式の合同訓練を行いました。参加クラブの中には、地元の消防署や消防団の方から指導を受けて練習に励んできたクラブもあり、これまでの練習の成果が発揮できるよう一生懸命取り組んでいました。

開会式



■主催者挨拶
消防庁国民保護・
防災部防災課地域防災室
志賀 真幸 室長



■挨拶
少年消防クラブ活性化推進会議
秋本 敏文 委員長



■選手宣誓
千葉県
浦安市少年消防団
宝 さくら さん

合同訓練

【クラブ対抗リレー】



【クラブ対抗障害物競走】



閉会式



■決意表明
鳥取県
米子市消防団少年消防クラブ
上田 綾 さん



■閉会のことば
公益財団法人
鳥取県消防協会
河本 定幸 会長

入賞チーム

【第1位】
埼玉県 三郷市少年消防クラブ



【第2位】
東京都 町田消防少年団



【第3位】
広島県 府中町少年少女消防クラブ



【第4位】
宮城県 歌津中学校少年防災クラブ



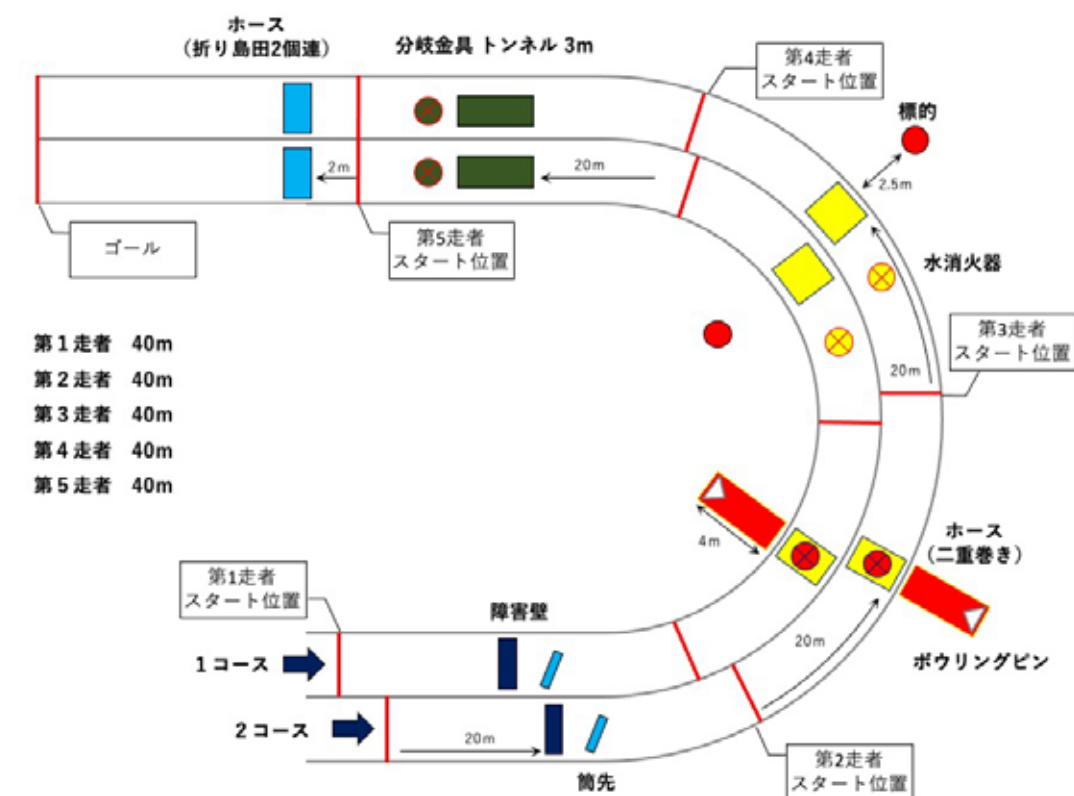
【第5位】
神奈川県 大和市少年消防団



クラブ対抗リレー

【概要】

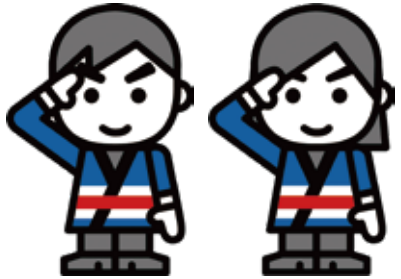
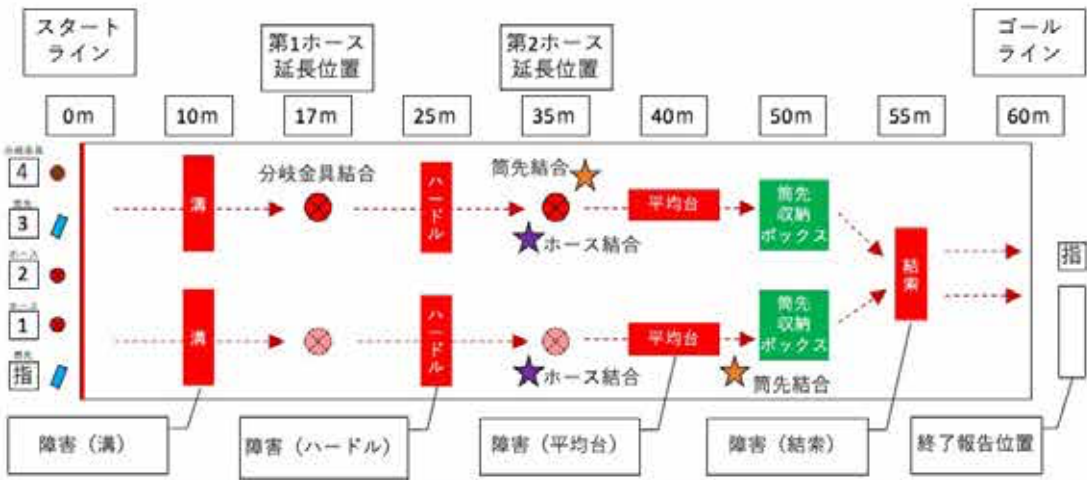
- ・1クラブ5名で行うものとする。
- ・全走者40mとする。(全長200m)
- ・筒先の代わりにバトンを使用する。



	第1走者	第2走者	第3走者	第4走者	第5走者(アンカー)
障 害	障害壁	ホースボウリング	水消火器	トンネル	ホース延長
共通事項	審判員の合図(号砲又はホイッスル)でスタート、バトン(筒先)をリレーしながら、アンカー(第5走者)がゴールラインを通過してバトン(筒先)を地面に置くまでのタイムを競う。なお、競技ルールから逸脱した動作や行動があった場合は減点とし、タイムに加算する。				
内 容	審判の合図によりスタートし、障害壁(高さ1.5m)を乗り越え、バトン(筒先)を取って第2走者へ渡す。	指定の枠の中まで移動し、ホース展張によりボウリングピンを倒し、第3走者へバトンを渡す。	水消火器を指定の枠の中に置き、水消火器を噴射し標的2つを倒し、第4走者へバトンを渡す。	トンネルをくぐり、分岐金具を搬送し、第5走者へバトン(筒先)と分岐金具を渡す。	前方に置かれたホースと分岐金具を結合、ホースと筒先を結合した後、ホースを延長する。ゴールラインを通過したらバトン(筒先)を置く。

クラブ対抗障害物競争(屋外)

- 【概要】
- ・1クラブ5名で行うものとする。
 - ・指揮者1名を含む5名でコース上の障害を越えながら、ホースを延長し、ゴールする。
 - ・直線60mのコースを用いる。



参加クラブの記録 [全37クラブ]

	指揮者	1番員	2番員	3番員	4番員
スタート時 携行資機材	筒 先	二重巻 40mmホース	二重巻 40mmホース	筒 先	分岐金具
共通事項	審判員の合図(号砲又はホイッスル)でスタートし、二重巻ホースを展張・延長しながら障害を越え、最後 に結索を行った後、クラブ員全員がゴールラインを通過するまでのタイムを競う。なお、競技ルールから逸脱した動作や行動があった場合は減点とし、タイムに加算する。※ 結索台において実施する結索は、 ①本結び…1本 ②巻き結び…1本 ③もやい結び…1本 ④ブルージック…1本の4種類(計4本)とし、指揮者以外の4人が任意の結索を1種類ずつ実施すること。				
競技内容	スタートの合図で筒先を携行し、各障害を越える。50m地点で待機し、1番員が延長してきたホースと筒先を結合する。その場で折りひざの姿勢をとり、「余裕ホース」と取る。放水姿勢をとり「よし」と呼称した後には筒先を「筒先収納ボックス」に収納しゴールする。ゴールした後、全員が終了報告位置に整列したことを確認したところで、右手をあげ終了の合図をする。	スタートの合図で二重巻の40mmホースを携行し、各障害を越える。35m地点でホースを展張し、2番員が延長してきたホースと自身のホースが結合された後、ホースを延長しながら【平均台】を渡り、指揮者の筒先とホースを結合する。【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。ゴールした後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で二重巻の40mmホースを携行し、【溝】を越える。17m地点でホースを展張し、ホースを延長しながら【ハードル】を越え、ホースをハードルの下に通す。1番員が展張したホースに自身のホースを結合した後、【平均台】を渡る。【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。ゴールした後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で筒先を携行し、各障害を越える。ハードルを越え、置いてあるホースを展張し、筒先を結合する。4番員のホースと自身のホースが結合された後、筒先を持ってホースを延長しながら【平均台】を渡り、50mの位置で放水姿勢をとり「よし」と呼称した後に筒先を「筒先収納ボックス」に収納する。【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。ゴールした後、終了報告位置に整列する。	スタートの合図で分岐金具を携行し、【溝】を越える。17m地点で置いてあるホースを展張し、分岐金具に結合する。ホースを延長しながら【ハードル】を越え、ホースをハードルの下に通す。3番員のホースに、自身のホースを結合した後、【平均台】を渡る。【結索台】に至り、指定された結索の内、1種類を行いゴールする。ゴールした後、終了報告位置に整列する。

※各ホースの結合、ホースと筒先の結合は、前走者、次走者のいずれが実施してもよい。また、双方が協力して結合してもよい。

暑さに負けず頑張った夏の2日間



伏古本町ひまわり少年消防クラブは、平成7年に発足し、元気に活動しています。今回の交流会に指導者と中学生1名と小学5年生の5名の合計7名で参加しました。今年はかつて経験のない暑さで札幌での練習も暑さとの闘いでした。それでも、合同訓練ではクラブ員同士が協力しあい競技を行うことができ、楽しく元気に終えることができました。



参加されたクラブ員・役員さん 「ありがとうございました」 指導者：池本 章

私は全国交流大会に毎回クラブ員を引率していますが、全員が常に次に何をすべきかを考え、率先垂範の行動をとるように指導してきました。また、出会った人やお世話になった方々には大きな声で挨拶やお礼を言うようにも話していました。今回、それらが自然と発揮され気持ちのいい交流大会になりました。暑い中、役員さんのクラブ員への協力・励ましに大変感謝しています。

2回目の交流大会

佐々木 陽平

僕は、今回は中学3年で最後の交流大会になります。そして唯一の中学生として参加しましたが障害物リレーでミスをしてしまいました。リーダーとして、もっと意識を高めておかなければならなかったと思いました。しかしクラブの仲間と協力して良い交流大会に出来たと思うので良かったです。今回の貴重な2日間を忘れずにこれから過ごしていきたいと思います。



みんなで楽しんだ全国交流大会

三浦 杏珠

今年の全国交流大会では年上の人がたくさんいて勝てそうになかったけれど、一生懸命がんばりました。競技は一瞬で終わってしまったけど、前日の交流会ではたくさんの人と話すことができました。初めての参加でとても緊張したけど他のチームの人たちがたくさん話しかけてくれたから安心できました。北海道から参加したので鳥取県の魅力も知れて良かったです。



初めて全国交流大会に出場して

庄司 光里

全国交流大会へ出場して思った事は、まず高校生や中学生がたくさんいて、なんかすごい緊張して「練習はたくさんしたけど小学生が高校生とか中学生にかなうのかな、」と思いました。なので、せめて挨拶だけでもしっかりできるように気を付けました。走るときにサポーターを膝と肘につけていたけど、ちょっと走りづらかったです。あとはヘルメットがグラグラして重かったです。本番になってたくさんの人に見られてと思ったら、とても緊張しました。優勝はできなかったけど、いつもより頑張れた気がしました。



初めての全国交流大会

田中 稀絃

最初は、全国交流大会に行くと思うと緊張していましたが練習を始めるとだんだん楽しくなってきました。本番の日はすごく緊張しましたが、やはり楽しむことが出来ました。トンネルをくぐったりホースを延ばしたり、みんなと協力することが出来たのが良かった。そして、また絶対に全国交流大会に行きたいと思いました。



一生懸命頑張った全国交流大会

安部 流々

私は、今年の全国交流大会に、初めて参加する事ができました。一番に残った場面は、リレーです。私は、一生懸命やったのですが、相手の人が速かったのでびっくりしました。小2の頃大きな地震があり、大変な目にあった人達がたくさんいました。地震は起きてほしくないと思うのですが、いざと言うときのために、日頃から練習しておく事が大切だなと思いました。今回の経験を生かして今後も頑張っていきます。



緊張した全国大会

泉山 琴音

最初会場に着くまで緊張し、場の空気に慣れなかったです。なんとかなると思いましたが暇ではありませんでした。2番目の競技で色々体につけ、長ズボンだし気温が高いし大変でしたが頑張りました。本番走りは良かったけど最後のホースを転がすのを平均台にぶつかりそのまま走ってすぽと抜けてしまい時間がかかりました。本番はあまりうまくいかなかったです。でも大会が無事終わりお弁当を食べて着替えて楽しい観光をしてきました!とても良い経験になりました。



地域のための「歌津中学校少年防災クラブ」



歌津中学校少年防災クラブは、東日本大震災直前の平成23年2月に発足しました。全校生徒がクラブ員として活動しており、令和5年度は、90名の団員となっています。毎年、地域の消防署の方々からご指導いただきながら実施している「避難所運営活動」や文化祭での「歌中少年クラブ代表委員の発表」は、保護者をはじめ、地域の方々に大きな勇気と感動を与えるなど、本校の伝統として根付いています。



「感動」そして「感謝」

指導者：校長 熊谷 岳哉

今回、初めて引率者として参加させていただいた「令和5年度全国少年消防クラブ交流大会」でした。北は北海道から南は九州まで、全国から37の団体が一同に集まり、小学校から高校生までの少年少女たちが、校種や学年そして、地域を越えて交流を図り、訓練を行うという大会のスケール感に大変驚かされました。参加した本クラブの生徒たちも、たくさんの友だちができ、防災に関する学びも多くありました。猛暑の中、運営は大変だったかと思いますが、安全・安心の大会であったことに、事務局をはじめ、運営に当たってくださった皆様に心から感謝したいと思います。

交流大会を通して学んだこと

牧野 天飛

全国交流大会に参加して、チームとして、一つ一つの動きをキレイにできたことやベストタイムを出せたことなど、自分としてはやり遂げたと誇りを感じています。また、出会った全国のクラブの人たちはライバルでもありましたが、仲良く交流し関わることができたので良かったです。



次への期待

田沢 百佳

交流大会での結果は惜しくも4位入賞となりました。でも、このチームで全力を出し切り、タイムも今までで一番早かったので悔いなく、終わることができました。指導してくださった方々には感謝の気持ちでいっぱいです。次回交流大会に参加するときには今回の私たちの記録を超えて、上位3位以内を目指して頑張ってもらいたいと思います。



交流大会を経験して

畠山 佳士

私は、この交流大会を通してとてもいい経験をしました。それは、他のクラブとの交流と交流大会です。他のクラブとの交流では、最初は仲良くなって名刺をわたすことができるか心配でしたが、名刺を渡すことができて良かったです。交流大会では、惜しくも4位という結果になってしまいました。ですが、これからも努力を続け防災活動に取り組みたいです。この経験を糧に精進していきたいです。



優勝を目指して

佐藤 琉生

短い練習期間でしたが、六人で協力して少しでも多く練習をしようと頑張りました。自分はクラブ対抗リレーの障害壁を担当し、クラブ対抗障害物走では3番員を担当しました。結果は4位でしたが、入賞することができたので良かったです。



交流大会を通して

阿部 ひより

今回の交流会を通して、他の地域の方々と交流し、防災についてよく知ることができました。特に2日目の大会当日、いろいろなチームの活躍を見ることができて、とても勉強になりました。他のチームの練習方法を知ったり、コミュニケーションを取ったりなど良い経験になりました。さらに、他チームとの交流だけでなく、同じチームの先輩、同級生と協力することで、仲を深めることができました。



交流会で得たもの

阿部 吾公

今回、このような貴重な機会を用意してくださった皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです。指導してくださった消防署の方々、支えてくださった先生方や家族のために優勝したかったのですが、4位という結果に終わってしまい、悔しかったです。しかし、この大会で得たものはとても大きいものでした。全国で自分たちと同じように訓練を頑張っている仲間に出会えたこと、同じ目標に向かって仲間と努力したこと。このような経験ができて本当に良かったと思います。



思いを1つに～繋ぐ絆～



三郷市少年消防クラブは平成23年4月1日に発足し、現在小学5年生から高校3年生まで計104名のクラブ員が活動しています。消防の基本となる規律や礼式を学ぶ基本訓練から始まり、ロープ降下・渡過訓練の救助体験などの様々な活動を通して消防防災について楽しく学んでいます。



繋ぐ思い

指導者：三輪 竜大

三郷市は、前回の全国交流大会で5位の成績で悔しい思いをしました。先輩クラブ員達の思いとその悔しさを糧に今回の大会に挑みました。大会へ出場したクラブ員は、新型コロナウイルスの影響で訓練がなかなか出来なかった子がほとんどでしたが、大会に向けて限られた時間の中で、全力で訓練をおこない、優勝することができました。全国の仲間達との交流やクラブ員達で訓練をしてきた過程も大切に、そこで得た事、みんなが繋げてきた思いを今後のクラブ活動に活かしてほしいと思います。

自分が成長することが出来た交流大会

金子 遥

私のチームでは今回の大会両種目1位そして、総合優勝を取ろうという目標を立てて練習に取り組んで来ました。その結果その練習の成果をしっかりと大会当日に発揮できました。また、この大会ではクラブメンバーと絆を深め合い、他県のクラブのメンバーと交流ができました。普段の生活では、経験出来ないようなことが沢山でき、思い出に残りました。今回このような全国から色々なチームが集まる大会に参加できて良かったです。



私の宝物

井深 マリア

まずはじめに、支えてくださった全ての皆様に感謝いたします。目標の優勝!を勝ち取れたのは、保護者の皆様や指導者の方々が支えてくださったからです。言葉では言い表せない感謝の気持ちでいっぱいです。みんなの力で、この大会で第一位を取れたことを本当にうれしく思います。交流大会当日、緊張でうまくできるか不安だった中、チームのみんなで互いに励まし合い、今までの練習の成果を発揮し、全力で挑むことができました。チーム全員で優勝という目標に向かって、一人一人が強い意志を持ち、助け合いながら練習に励んだ日々は私にとってこの夏の最高の思い出です。また訓練の内容はこれからの将来に役に立つ良い勉強にもなりました。全国にはたくさんの少年消防クラブがあるのに驚き、他のクラブ員との交流も楽しく、大会では切磋琢磨し競い合った一泊二日は、私の宝物になるでしょう。この全国少年消防クラブ交流大会での経験を活かして、これからも日々の活動に全力で取り組んでいきたいと思っています。



気持ち

井上 瑛叶

全国大会という大きな大会に出るのはとても緊張していました。「失敗したらどうしよう。」「優勝できなかったらどうしよう。」などあまり表には出さなかったが心のなかでは心配している自分がいました。もし本番でそんな事を考えていたら失敗していただろう。アップで心を落ち着かせたときみんなのことを考えました。今までの長い練習時間、みんなの努力、練習での様々な場面を思い浮かびました。良いタイムが出ず悩んだこと、みんなで乗り越え最高タイムを出して喜びあったこと、そんな事を考えていました。「一人ひとりの思いがあるにちがいない。」「僕が弱音を吐いていたらみんなの努力が無駄になってしまう。」そう考えていたら強い気持ちに変わりました。そしてみんなの心一つになったような気がしました。あのときの気持ちは今でも忘れません。



一致団結

金井 隼人

僕は、全国少年消防クラブ交流大会を終えて、練習での団結力が大切だと感じました。なぜなら、この消防競技は1人では出来ないし、勝つことも出来ないからです。これは他のスポーツでも同じことだと思います。最後に僕は、個人ですること以外の全ては団結力があってこそ成り立つと思いました。今回の大会や訓練で学んだ経験を活かし色々なことに挑んでいき、知識や技術を身に付けていきたいです。



全国優勝に向かって

高畠 栄太

三郷市少年消防クラブでは、過去に2回優勝し、優秀な成績を残しています。そのため、僕たちも全国優勝を目標にしました。僕は、小学5年生の時に入団しましたが、6年生から中学2年生まで新型コロナウイルスの影響でほとんど訓練ができませんでした。大会へ向けて訓練が始まり僕は一生懸命訓練に励み頑張りました。僕はリーダーとして全国交流大会に向けて声を掛け合い、チームを引っ張って行きました。僕たちの努力は大会で発揮でき、優勝することができました。最高のメンバーと指導してくれた方々に感謝したいです。良い経験をさせていただきありがとうございました。



全国少年消防クラブ交流大会を終えて

武藤 春翔

私は、大会をおえて思い出に残っていることが3つあります。1つ目は、大会までの練習です。最初は顔も名前も知らない人たちの集まりで不安になりました。けれど日々の練習をしていくうちに自然と喋れるようになりました。競技のタイムもどんどん早くなり優勝を狙えるまでになりました。2つ目は、遠征のことです。鳥取県に行く事でさらにチームの団結力、絆が深まりました。皆で入った温泉や、ご飯、朝早く起きて行った海はとてもいい思い出です。3つ目は大会の事です。当日は沢山の人で足が震えるほど緊張しました。けれど日々本気で皆でやってきた練習のことを思い出すと大丈夫だと言う気持ちになりました。最後に皆で夏休みから大会当日まで練習を本気でやってきました。大会へ出場できたのも親、消防職員の皆さん、大会関係者の方達のおかげです。本当にありがとうございました。



熱くて暑い夏の1ページ



浦安市少年消防団は、平成24年に発足し、市内の小学校5・6年生で構成しています。専属の指導員を中心に、1年間を通じて規律訓練、救命講習、救助訓練、総合防災訓練や出初式への参加などの活動を行っています。交流大会へは6年生から希望者を募り、選考会で選ばれた5名の選手が参加しました。

全力の証

指導者：近藤 ゆり

今回参加した子どもたちは、暑い夏の日々の練習にも一生懸命取り組み、障害物競争やクラブ対抗リレーでは、緊張しながらも精一杯頑張っていました。中学生たちのチームがある中で、11位だったことは素晴らしいかったです。悔し涙をたくさん流しました。それは全力で一生懸命やった証だと思います。お互いに協力し合わなければ達成出来ないことも学びました。今回の経験を糧にこれからも色々なことに挑戦できる人になってもらいたいと思います。

特別な経験

指導者：高木 駿輔

4年ぶりの大会、合同訓練での「三連覇」という大きな目標、浦安市少年消防団の選手たちには数々のプレッシャーがあったと思います。選手一丸となって合同訓練へ挑戦するも、優勝へは届きませんでした。悔し涙もありましたが、この交流大会で得た様々な出会いや経験を、自分のものとし、将来へ活かしていただきたいと思います。



私たちの挑戦

原田 ななみ

全国大会3ヶ月前、私たちの挑戦は始まり、大会に向けてチームでたくさん練習しました。そして待ちに待った合同訓練当日、私たちは「三連覇」という大きな目標をかけた大会に挑みました。結果は11位で三連覇を逃してしまっ悔しいです。しかし、全国大会で出会った他のクラブの人たちの話を聞き、交流できたことは良い経験になりました。この貴重な経験をこれから地域のために活かしていこうと思います。



僕を成長させてくれた交流大会

鳴海 颯真

僕は最初に交流大会のことを聞いたとき「へー、そんながあるんだ」くらいにしか思っていませんでした。その後、選手に選ばれた時は、「選ばれたからにはやり遂げないと」、と思いました。僕たちは大会に向け日々練習を続けていく中で、選手たちとの信頼も深まってきました。大会の日、ここまで指導してくださった方への思いを込めて全力でやりました。良い結果ではなかったですが、僕はその経験をこれからに活かしたいと思います。



経験と思い出

宝 さくら

私はこの大会にリーダーとして出場し、たくさんの経験と思い出ができました。練習している期間もチーム全体でどうしたら優勝できるか、もっとタイムを縮めることができるのかと切磋琢磨しながら5人での一つの目標に向かって突き進んでいきました。真剣さの中にも笑いや思いやりがありました。心をつなげて取り組めたことはかけがえのない時間になりました。大会では思い通りにいかないこともありましたが、これまでチームで努力できたことは誇りに思います。暑中、いつも練習に付き合ってくれて導いてくださった消防の先生方にはとても感謝しています。今回の経験を自分の血肉としてもっと成長していけるようまだまだ多くのことに挑戦していきたいです。ありがとうございました。

がんばった全国大会

松尾 紘都

僕は初めて全国大会に出場する選手の立場になりました。選ばれた時は、できるかずっと不安に思っていました。でも仲間たちとたくさん練習をしていくうちにだんだんと楽しくなっていき、自信がついていきました。残念ながら優勝はできませんでしたが、他のクラブとの交流や仲間たちと過ごせた時間は宝物になりました。この経験をこれからの消防団の活動に活かしたいです。



最初で最後の夏

近藤 ゆず

交流会でたくさんのことを学ぶと同時に貴重な経験をする事ができました。今大会に参加できて嬉しく思うと同時に、三連覇というプレッシャーが練習中でも多くあったと振り返ってみて感じました。そんな中でも一生懸命、一緒に戦ってくれた同じ選手の仲間達に感謝したいとこの文章を書く中で改めて思いました。全国の仲間達と交流するという貴重な経験は二度とないと思うので本当にありがとうございました。



仲間とともに～



本郷消防少年団は、昭和54年に発足し、現在小学3年生から高校1年生まで計48名のクラブ員が活動しています。今回はクラブ員6名指導者1名の計7名で参加しました。月1回程度の活動内容は、基本訓練はもちろん、地域や社会との繋がりを大切にしたい身近な防災対策や社会奉仕活動等も行っています。

素晴らしい体験

指導者：北川 恵美子

米子での全国交流大会では、まさしく全国の消防少年団の皆さんと和やかに交流を深めることができ、とても嬉しく思います。限られた時間でのクラブ紹介や競技を通じて、団員たちも心をひとつにして全力で頑張りました。この素晴らしい体験を心の糧として、今後いっそう活躍してほしいと思います。団員たちと参加でき、非常に光栄に思います。そして、大会関係者の皆様に温かい歓迎と御心遣いをいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。



仲間との結束

加藤 三可里

私が今回の交流会で得たものは、仲間との結束です。交流会の前に少年団紹介を皆で考えたり、二種類の競技の練習では改善点について活発に話し合いを行うことが出来ました。練習を通して普段話さない団員とも仲良くなりました。鳥取への移動の際に更に仲良くなり、本番への結束に繋がりました。深まった結束を日々の活動に活かしたいと思います。このような交流会を開催してくださり、ありがとうございました。



交流大会の感想

加藤 大和

この度は全国少年消防交流大会に参加させていただき、ありがとうございました。関係者の方々、いろいろと準備いただき、ありがとうございました。普段話すことの出来ない島根県の消防学校の先生や総務省の方から消防の仕事や消防車について教えていただきました。これ程消防隊の方々が難しく、厳しいことをしているんだと思いました。交流大会で学んだことを活かしていきたいです。またこのような機会を作っていただきたいです。次回も参加したいです。



初めての大会参加

廣田 有咲

私は交流大会に初めて参加しました。少年団の仲間と飛行機に乗るのも初めてでワクワクしました。ホテルでおみやげを買ったり、宿泊するのも楽しかったです。大会では1日目のスピーチが上手くいった良かったです。2日目のリレーでは相手を抜くことが出来ました。障害物競走のホースがのびにくかったり、難しいこともあったけど、みんなで協力してゴール出来てうれしかったです。機会があればまた参加したいと思います。



仲間とともに

伊藤 蒼大

ぼくは、交流会を通じて、仲間を團結することの大切さを学びました。競技や、クラブ紹介などで仲間と協力してできたのでよかったです。また、クラブ内での活動でもこの交流会で團結することの大切さをしたのでいかしていきたいと思います。



たくさんの思い出

前島 朋恵

私の鳥取での思い出はたくさんあります。リレーでは意外にはしごが高く、難しかったです。障がい物競走は12位で、今後も練習をしつかり行いたいと思いました。また、この活動を機会に、友達ができました。バスの席ではとりに座って、たくさん話しました。飛行機の待ち時間などでは、みんなで人狼ゲームを行いました。しっかりルールを教えてくれたので、楽しむことができました。色んなことがあったけど、友達もできてみんなの団結力も強くなったと思いました。なんだか楽しかったです。



二日間のEnjoyDay

村田 瑛麻

一日目の楽しかった事は、ふたつです。移動中のドキドキでお昼ご飯も忘れてしまった事と、スピーチです。大きな声で話したり、他の団の話聞くのもおもしろかったです。二日目の楽しかった事も二つあります。ひとつは、障害物リレーです。練習してきたのに自分たちよりも速い人が沢山いて驚きました。でも十二位で楽しかったです。もうひとつは、帰りに皆でお土産を見たり、人狼ゲームをしたことです。また、来年も行きたいです。





2日間の貴重な体験



日本堤消防少年団は東京の伝統と長い歴史を持つ街である浅草を拠点とする消防少年団です。昭和54年に発足した少年団は長い歴史を経てもなお、その勢いが衰えることなく、今年度からは6名の新たな仲間を迎え、団員総勢35名となりました。今回の交流会は4名が代表として参加しました。

大会への希望

指導者：鈴木 清美

4年ぶりの大会でしたが、参加の指導者とは顔なじみの方も多く久しぶりの再会を楽しみました。今回は一泊ということで、指導者の負担も少なくとも良かったですと思います。ただ、前回のような段ボールハウスの作成がありませんでした。ホテルでの歓迎もとても素敵で、太鼓に感動もしました。準備も片付けもホテルの宿泊と違いとても大変だったと思いますが、子供たちにとっては他の団の人や指導者と交流を深めたり、段ボールで床に寝るという普段なかなか体験できないとてもよい経験だと思います。無いに越した事はありませんが、万が一にも被災するような事があった時に役に立つような気がします。

全力を尽した全国大会

中村 文彌

私はこの大会を通してチームワークの大切さを学びました。大会前に行った練習ではあまりタイムが伸びませんでしたが、声かけが増え助け合っていく内にだんだん良いタイムをだせるようになりました。大会はオープン参加でしたが、一人ひとりが最後まで全力を尽くすことができました。今後の活動でも声かけを意識して団全体のチームワークを強めていきたいと思っています。



交流大会に参加して感じたこと

植野 秀虎

僕が交流大会に参加して感じたことは、団体での練習では、1人1人のいしき、そしてさいていげんのルールを守ることが重要だと学びました。また、この交流大会での出来事は、最高の思い出となりました。そしてけがせずむりせず全員健康で帰ることができました。



4年ぶりの全国交流大会

渡辺 作

今回の交流会に参加して、私は普段関わらない人たちと関わることの大切さを感じました。北海道から熊本県まで様々な所から来た仲間達と共に過ごした二日間はとても楽しかったです。また、私は4年前の交流会に団の中で最年少で参加しましたが今回は男子の中では最年長だったので、役割等が違い最初は戸惑いましたが交流会での貴重な体験を持ち返ることができたと思います。本当にありがとうございました。



全国少消防クラブ交流大会

横山 獅門

初めは、スマホもなく心ぼそかったけど、さくとりがいてくれたからたのしかったし、交流大会に行って他のクラブチームの子たちとたのしく遊んだりして行つてよかったなと思った。また、本番で、つうこのミスをしてしまったからそこを次回などで気をつけたい。



思いやりと助け合い ～チームワーク～



向島消防少年団は昭和54年4月に発団し、現在44年目を迎えております。現在は団員36名が在籍し、規律や道徳心を学び、社会奉仕活動や地域に密着した活動に参加し、社会の担い手として育つよう活動しています。今後も、常に他人に対する思いやりや地域社会に対する奉仕の精神を養い、あらゆる分野で活躍できる大人へと成長できるよう活動してまいります。



全国大会に刺激を受けて

指導者: 太田 潔志

当団は初めて全国大会に参加させていただきました。練習を重ね、迅速なロープワークなどの技術を身に付けられました。また、自分たちだけで問題点を話し合い、解決を模索するなど素晴らしいチームワークが築けたと感じました。本番では大きな声を出し、礼儀正しく、自分たちの持ち場をしっかりとこなすことができました。大会を運営していただいた皆様、ご協力くださいました皆様に感謝申し上げます。団員たちにおきましては、この経験を今後に大きく活かしていって下さい。

気持ちは優勝

指導者: 永田 真一

初めてのクラブ交流大会でしたが、参加させて頂き大変感謝しています。今回は、優勝こそ逃しましたが、クラブ員のまとまり団結力がさらに増した様な気がします。訓練では、出れば良いと思う気持ちが、段々優勝を目指すチームになり、一人一人が全体を気にするようにまとまり、向島の代表として、恥ずかしくないチームになったと思います。タイムが全てでは無く年齢・規律・団結力などを考慮して頂けたら、もっと良い大会になるのではないかと・・・

思い出と教訓

永田 瑚音渚

練習では、思うようにタイムが伸びず悩んでいました。しかし、練習を重ねることで日に日にタイムが速くなり、本番では、今までで一番良いタイムを取ることができました。そして、私たちは、タイムも大切ですが、仲間との連携、掛け声、一つ一つの動作の正確さ、規律を大切にしました。今回の大会を通し、仲間と共に地域の担い手となるよう日々の訓練により力を入れ、災害時には、率先して私たちに出来ることをしていきたいと思いました。



次に向けて

永田 拓海

僕は、初めての大会で凄く緊張していました。だから、転んだり失敗したりするかもしれないと思っていました。でも、一緒にでた仲間や、教えてくれた指導者の方々の支えもあって8位という成績をとる事ができました。優勝はできなかったけど僕らの中では優勝できたと思います。でも、僕らの中ではなく、ちゃんとした優勝を次はしたいので、次に向けてこの大会の悔しさをバネにして一生懸命練習し、この大会で得た団結力をもっと大きくして、またこの大会に出る機会をえられたら絶対に優勝したいです。



はじめての全国交流会

澤田 岳

今回、僕は鳥取県に行くにあたって、向島の代表として行くので自分で大丈夫かなと、不安と緊張の気持ちがありました。そして、初めての練習の時に自分は本結びだったけど、その時には結び方もわかりませんでした。ですが署の人など沢山の人ののおかげでできるようになりました。そして、本番前最後の練習ではみんなが汗を流しながら大きな声を出して練習して、最初の時よりもすぐ上手くなりました。本番当日の結果は8位でした。その時は嬉しかったけどまだ上を目指したいなと思ったので、もし次に行く機会があれば行きたいなと思いました。

嬉しかった大会の結果

服部 佑真

ぼくは、今回の大会のため、向島消防署の体育館や外で練習を何回もやりました。思ったより大変でした。特に大変だった所はハードル越えでした。身長が低いのでなかなかハードルを越えられなかったです。大会を行う鳥取までは飛行機に乗って行きました。本番の時は緊張したけど、広島から応援にきてくれたおばあちゃんとおじいちゃんの応援で頑張る事が出来ました。頑張った結果、練習よりいいタイムで8位まで行けたのでうれしかったです。



楽しく学べた全国交流会

小崎 夏向

今回僕たちが臨んだ全国交流会はみんなで練習してきた時よりもいいタイムが本番で出せて団結できて、うまく行っただけで良かったです。障害物競走が8位と惜しくも表彰されませんでしたがみんなで一致団結して取った結果なので悔いは少しもありません。大会が終わった後もみんなでよく頑張ったねなどと失敗した人を責めたりなどはせずお互いを褒め合ってたので本当によかったです!!このような貴重な経験をさせてくれた方々には本当に感謝しています。



忘れられない熱い夏の思い出～大切な仲間とともに～



蒲田消防少年団は現在、小学2年生から高校2年生までの31名で活動しています。地域の防災力の要である消防団で活躍している指導者が多く在団しており、その方々の支援や指導を受けて日々訓練に励んでいます。交流大会に向けて仲間とともに事前訓練に励んだ日々は大変貴重な経験となりました。この経験や日々の訓練で培われた技術を今後の活動に生かしていきます。



交流大会に参加して

指導者：土屋 和美(副団長)

久しぶりの大会が開催され、選手たちは初めての参加者達でした。夜、署員の方達の協力のもと、訓練を重ねていくうちに徐々に上達し、皆楽しんでやっていました。当日会場に着き、初めての事で大丈夫かと心配しましたが、選手達は緊張することなく楽しそうにやっていました。選手達の成長した姿が見られ、頼もしく思いました。この経験を活かし、来年も頑張りたいと思います。

全国交流大会での学び

指導者：名城 良紀(準指導者)

私は今年、全国交流大会に指導者として参加させて頂きました。全国から多くの少年消防団の方々が参加され、コロナ禍以前の活気が戻ってきたようでした。本番での団員たちは一味違ったような印象を受け、全国から様々なチームが参加しているため気持ちが引き締まっているようでした。指導者としていつも以上に団員の安全管理等を怠らないようにと思い臨みました。この全国大会を通じて、団員、さらには私自身まで成長できるものとなりました。

鳥取で頑張ったこと

立石 美羽

私が、鳥取に行って頑張ったことは、クラブ対抗障害物競争です。スタートからホースを持って行く時にスムーズにホースを伸ばせるように持つ向きなどを工夫しました。私が鳥取に行って感じたことは、他の消防少年団の代表の人たちも技術や知識が沢山あり、私ももっと頑張る技術や知識を高めたいと思います。夏休み中の訓練を通じて代表の子たちと仲良くなれたと思います。そして、訓練をしていくうちに団結力も高まったと思います。



全国少年消防クラブ交流大会に参加して

三枝 龍

僕は、交流会に参加するために夏休みから暑い体育館で訓練を頑張りました。巻き結びとホースボーリングの担当で、特にホースボーリングが難しかったです。コツは、転がす方向につま先を向けることでした。合同訓練では上手に転がすことができました。参加クラブ紹介は、たくさんのクラブが集まっていて驚きました。鳥取は海もきれいで、早起きして見に行った朝日が心に残りました。



初めての全国交流大会

糟屋 羽菜

全国大会も鳥取も私にとってはどちらも初めてでしたが、練習を通して仲が深まったチーム皆と一緒にだったので、とても楽しく参加することができました。クラブ対抗リレーでは、練習では出せなかったタイムを全国大会で出すことが出来たので本当に嬉しかったです。特に、苦手だったもやい結びはたくさん練習したので、本番では簡単に素早く結ぶことが出来ました。忘れられない思い出がたくさん出来た二日間でした。



仲間と協力した交流会

近藤 結菜

私は今回の交流会を通して、仲間と協力することの大切さを学びました。練習回数は多くなかったのですが、目標に向かって練習を繰り返すうちに、どんどん記録を更新することができました。その時の喜びはすぐ心に残っていて、このメンバーで大会に出られて良かったと思います。オープン参加だったので記録は出ませんでしたが、それぞれが全力を尽くし、本番では練習以上の結果を出せたと思います。交流会に出ることができて良かったです。



幅広い年代の団員が団結して取り組んだ交流大会



矢口消防少年団は、昭和53年3月27日に発団し、小学校3年生から高校3年生までの団員47名で元気に活動しています。今回の交流大会には、高校2年生1名、中学3年生1名、中学2年生1名、小学6年生2名、小学5年生1名の構成で参加し、交流大会に向けて事前訓練を行い、チームワークを深めて当日を迎えました。全国のクラブと交流を深めることができ、とても良い経験となりました。この経験を今後の活動に活かしたいと思います。



普段見られない顔

指導者：西村 啓子

競技で良い成績が取れないと誰でも悔しいですよね。37チームそれぞれの思いがあったと思いますが、こんな時に団員が見せてくれた顔。困っている子に、素敵な言葉を掛けてくれた子。お茶の入れ方を聞きに来て入れてくれた子。最年少なのに一番落ち着きある子。年下を常に手伝ってくれた年上さん達。指導者の作業に気付き手伝いに来た子。「自主的」なんて素敵な体験、交流大会に参加出来たことに感謝。関係者の皆様に感謝です。

初めての交流大会

川瀬 紗那

私は今回初めて参加した交流大会で沢山の思い出ができ、とてもいい経験になりました。リレーではトップバッターだったので緊張しましたがスムーズに障害壁を乗り越えられました。また、他の団員とも協力しながら楽しく出来ました。今回の交流大会で学んだ経験を活かして少年団活動で頑張っていきたいです。



交流大会を終えて

高橋 寧菜

全国少年消防クラブ交流大会は、地域の結束力を感じることができた貴重な機会でした。熱い闘志と協力の精神が会場に満ちており、訓練の成果を披露することができました。参加者の献身と努力には心から感動しました。さらに、交流の場としての役割も果たし、新たな友情が生まれたことは喜ばしいことです。これからも地域の安全を守るために、連携して取り組んでいきたいと思わせる素晴らしい大会でした。



仲間をサポートできた喜び

加藤 思惟

私は大会前、障害物リレーでの結索を中心に練習しました。結索が苦手な私は競技に出る事に焦りを感じました。こうして毎日の結索練習が始まりました。何があっても「私はこれできます!」と言えるようにとにかく結索の練習をしました。イメトレも頑張りました。大会前日、不安が強い仲間の代わりに予定外の競技に参加することになりました。練習してきて良かった!と感じました。本番も練習のおかげで上手いきました。自分の目標を達成できてとても嬉しかったです。



貴重な体験

小村 瑛太

全国少年消防クラブ交流大会に参加できてうれしかったです。たくさんの地域の人達と一緒に訓練することができて、とてもいい経験になりました。クラブ対抗戦でしたが、いつもどおりの行動をすることができたと思います。短い時間でしたが、とても貴重な体験をすることができました。チームのみんな、つきそってくれた指導員のみなさんありがとうございました。



初めての交流大会

長谷川 花梨

交流大会に参加して一番心に残ったことは、人の温かさです。私はこの春に入団したばかりで不安もありましたが、皆さんに優しくして頂き、とても楽しい二日間でした。同じ団の人達は失敗しても励ましてくれたり、気にかけてくれて不安がなくなりました。他の団の人達も名前を覚えてくれたり、人の良い所を見つけるのが上手だと思いました。今回の交流大会で周りの人にももらった温かさを、これからは私も他の人に分けてあげられるようにしたいです。



初めての交流大会

由利 栞奈

今回、交流大会に出たのが初めてでどんな感じで競技をするのかも分からなくて緊張しました。でも色々な人に教えてもらったおかげでちゃんと出来てよかったです。少しうまくいかなかった所もあったし、練習していた時とは全く違って緊張感があったから、自分の全力を出し切れてはいないかもしれないけど、自分なりに納得できるような動きができたので良かったと思います。また、他の人達を見てるとたくさんいい所があったので、今後の活動に活かしたいと思います。



成長と絆



豊島消防少年団は、昭和54年に発団しました。現在鈴木団長以下14名の指導者と小学3年生から高校3年生までの56名の団員で活動しています。今年の交流会には高校生2名、中学生4名で参加しました。全国の少年団員と交流を深めることができ、団員たちにとって大きな成長につながった貴重な3日間となりました。



全国交流大会に参加して

指導者：阿部 勇知

署長、団長、家族に見送られ羽田に出発した。ロビーでは、他の団と合流し、団員の参加意欲が盛り上がった。夕食と懇親会では、全国から集まった多くの団員と出会い、この大会の重要性に気づいたようだった。翌日の合同訓練では、緊張のせいか練習の成果を十分発揮できなかったが楽しんで参加した。この交流会で、全国にいる大勢の同じ目的をもつ仲間と出会えたことで、今後の活動の大きな励みになったと思う。主催者、関係諸機関、鳥取県、米子市の皆様、ありがとうございました。

団結力

駒場 凜乃

今回はコロナウイルス感染症流行が明けてから初めてのクラブ交流会への参加となりました。いつも活動しているメンバーと一緒に地元を離れ、地方から参加するたくさんの消防少年団員との交流は私の人生において貴重な体験であったと思っています。今回の大会では思うような成績に届かず悔しい思いをしましたが、今後の訓練はより一層力を入れて、協力していこうという団結力に変えることができました。



「新たな学びの夏」

林 歩実

この交流会を通し、他クラブとの交流で言葉を交わし、それぞれ全力を尽くして頑張ることができ、新たな縁を結ぶことができたと思います。朝早く起きて同室の子とみた海から昇る朝日はこの夏忘れられない思い出です。大会を開催していただき、ご協力いただいた消防団の方々、鳥取県知事をはじめ鳥取のみなさん、引率してくださった阿部指導者、たくさんの方々に感謝の気持ちを忘れずに活動に励んでいきたいです。



全国少年消防クラブ交流大会を終えて

北爪 美彩貴

令和5年度全国少年消防クラブ米子交流大会に行ってきました。この大会では食事や名刺交換の時などに他のクラブチームなどと交流する際、最初は緊張したけれど、段々と慣れてきて、交流するスキルなど、普段の生活ではあまり身につかないことが少し身につきました。競技では対抗リレーで第2走者のホースボウリングを、障害物競走では第4走者をつとめました。優勝することは出来なかったのですが、この大会で身につけた技術、教訓を普段の活動や日常生活などに活かしていきたいと思いました。



全国交流大会

宗像 紗生

全国大会に行って実際に競技をやってみて、緊張もあつてか良いタイムを出せなかったけど、事前におこなった訓練の成果を出すことができたと思います。全国の消防少年団の人たちと交流したり、行ったことがない場所に行けたのも良い体験になりました。また機会があったら参加したいと思っています。この体験をこれからの訓練に活かしていきたいと思っています。



「交流大会に参加して」

宮崎 真緒

私は今年初めて交流大会に参加しました。小学校3年生から消防少年団を始めて、中学1年生になり、このような大会に参加することができて、うれしかったです。なぜうれしかったかというと、普段一緒に活動している同じ消防少年団の団員だけではなく、他の消防少年団の団員の人たちの競技の様子を見て、たくさん刺激を受けたからです。同じくらいの年齢の人たちで私たちよりも技術がすごい人たちがばかりで、私もさらに訓練に励みたいと感じました。



全国少年消防クラブ交流大会に参加して

横井 洋大

鳥取県での全国少年消防クラブ交流大会が終わりました。夏前より練習してきた力をみんなで発揮、チームで協力もできました。クラブ対抗障害物競走では平均台を渡る時に焦らずゆっくり行けたのが良かったです。また、クラブ対抗リレーでは、障害壁の時にゆっくり間違えずに登れました。指揮者として良い判断ができた自分でも思いました。みんなそれぞれの役割をはたし、がんばれたと思います。この経験を、これからの消防団活動にもいかしていきたいです。



全員で一丸となってチャレンジした全国大会



本田消防少年団は、防火防災に関する知識、技術を身につけ、その団体活動を通して道徳心や責任感を育み、社会奉仕の精神と将来の防災リーダーを育てることを目的に活動しています。規律訓練をはじめ、放水訓練、結索訓練、応急救護訓練等を行うとともに、地域の行事や消防署の防災イベントにも積極的に参加しています。日頃の訓練成果を発揮するとともに、消防団と連携して消防広報を実施するなど、その活動は地域住民の防火防災意識の向上に一役担ったところです。令和5年3月には、長年にわたる適正なクラブ活動が認められ「特に優良な少年消防クラブ」として総務大臣賞を受賞しました。



全国大会に参加して！ 指導者：遠山 正行

大会関係者の皆さん、大会に参加された皆さん、お疲れ様でした。今回は、一泊二日と短い大会でしたが、選手同士が交流出来る時間がなくて、残念でした。選手の皆も一生懸命に競技に参加され事故やケガ無く帰宅出来たことは幸いでした。この大会を通じて全国に友達作りのチャンスで意見交換して親睦を深められる大会だと思っています。大会を通じて他のクラブの活動やメンバー同士で親睦を深められるプログラムにして欲しいです。

全国大会を終えて

鈴木 順也

僕は、全国少年消防クラブ交流会に参加して、チームの団結力の大切さについて知ることができた。様々な都道府県から集まった消防クラブの人達を見ていると、自分の消防クラブと比べると、コミュニケーションをしっかりと取り、協力しながら様々なことを行っていることが分かった。この経験を活かし、隊長として、もっと仲間達とコミュニケーションを取り、今まで以上に団結できるようにしたいと思う。



自分の成長と経験

石川 英美里

私はこのクラブ交流会がすごく楽しかったです。最初は、飛行機、結索など不安なことが多かったけれど、着くと優しい人だらけで友達もたくさん増えました。ホテルの人にも優しく話しかけてくれたり、写真を撮ってくれました。大会では、5位以内に入る事はできませんでしたが、皆全力を尽くして頑張りました。この経験を活かし、大会に行った先輩として、教えたいです。次の大会では練習をもっとして、5位以内を目指し、頑張りたい。



交流会での経験

内藤 琉乃

全国少年消防クラブ交流会で私はたくさんの経験をしました。全国消防クラブの人と交流し色々なお話を聞きました。普段の活動がクラブによって変わっていたのでびっくりしました。特殊な活動をしているクラブもありました。年の近い人々との交流はとても良いものになったと思います。私の成長にもつながると思います。これからの活動に交流会の経験を活かしていきたいです。



来年の全国大会に向けて

伊藤 優里

私が全国大会で他のクラブや自分のクラブを見て感じたことは、入賞したクラブはすごく動きが速いことです。私はそれを見て、自分たちよりも多く練習をしていると思いました。更に、皆足が速いことを感じました。なので行動が速いと感じたと思います。私は今年は補欠で大会には出られませんでした。来年は今年よりも多く練習をして入賞できるように頑張りたいです。



僕が後悔したこと

千葉 結喜

僕が全国消防クラブ交流会に参加して感じたことは1つあります。それを2文字で表すなら「後悔」です。何故か、それは初日の夜のことでした。トップを取るために鳥取に来たのに交流会で緩い雰囲気だった僕は遠山さんに叱られました。そこで遠山さんに言われた言葉は「トップ5を取る勢いです。」と「先輩達の記録を越すぐらいの気持ちで！」という言葉でした。この両方を達成出来なかったのを僕は後悔しています。



夏一番の思い出～全国大会～

横松 由衣

私は、今回初めて全国大会に参加しました。兄がコロナ禍前に参加していたので私も全国大会に行きたかったので参加することができてとてもうれしかったです。全国大会では、他の消防少年団の人とたくさん交流したり、競技をしたりしました。結果はとても残念でしたが、仲間と力を合わせ楽しく行うことができたのでよかったです。次回はもっと練習をして上位に入れるように頑張りたいです。



仲間と助け合う事の大切さを学んだ全国大会



葛西消防少年団は平成12年に発団し、現在は指導者18名と小学1年生から高校3年生まで総員44名で活動しています。交流大会は今回で4回目の参加になりますが、団員は練習を通して仲間としての絆を深く結び大会に参加し、皆で助け合い協力して良い成績を上げることができました。この経験を今後の活動に活かして行きたいと思います。



全国大会に参加して

指導者：彦田 基子

代表選手に選ばれた団員が、連日の猛暑の中猛練習に励み一生懸命に競技に向かう姿を見せて頂き感激致しました。代表団員全員が、ひとつの目標に向かって力をあわせ、それぞれの役割を精一杯努力し、成果が達成できたと思います。かけがいのない貴重な経験ができたと思います。今後この大会で体験できた事を、成長過程で生かして行き、将来の防災リーダーとして成長していく事を願っております。最後に大会にご尽力して頂いた方々に御礼申し上げます。

全国消防少年団交流会にて

指導者：貞丸 操

私は初めて交流会に参加しましたが、色々な事に感動しました。競技では、どのチームも真剣で「絶対勝つぞ」とみんないい顔をして輝いていました。タイムに納得がいかず悔しくて泣いている子もいて、真剣なのが伝わってきて、私まで貰い泣きをしようくらい素敵だなと思いました。子供達が今回の大会で得たものは大きいと思います。みんなで助け合い協力して、大会での経験を活かし、今後の活躍を楽しみにしています。

全国大会で学んだこと

名幸 朱里

私が全国大会で学んだことは、何事にも全力で取り組むこと、皆で協力することの大切さです。大会では全員が全力を尽くし、精一杯努力しました。その結果、16位と上位半分に入ることが出来て嬉しかったです。私は全国大会を通して、何事にも全力で取り組みたいと思いました。私の忘れられない思い出となりました。大会では沢山の方々の協力のおかげで、普段出来ないような良い経験が出来ました。経験をこれからの活動に活かして行きたいです。



初めての体験

宇佐川 昇

全国大会で僕はいろいろな事を学びました。一つ目は少年団の仲間と仲良くなれたことです。僕は同世代の友達としか活動でしゃべっていませんでしたが、とても仲良くなれたのですごく嬉しかったです。二つ目はリレーです。最初は隣のレーンのチームに負けていたのですが最後に巻き返すことができ、16位になれてすごく嬉しかったです。チームで優勝したりチームで頑張ることがすごく楽しかったです。とてもいい経験になりました。楽しい交流会になりました。



全国交流会から

貞丸 泰輝

僕は全国交流会に初めて参加して、クラブ対抗リレーでは1番員をやりました。障害壁では練習と同じように出来なかった。障害物競争ではリレーに比べて練習と同じように出来たので良かったです。結果総合順位16位を取ることが出来ました。また補欠で今回は行けなかった弟の分もみんなで協力して良い成績を残すことが出来たと思います。今回の交流会で他県の少年団の人との交流もできました。改めて何事もみんなで助け合う事の大切さを学びました。

貴重な体験

物見 悠里

私は初めての交流会に出場し、様々な事を学びました。大会の選抜メンバーとは皆が皆、元から仲が良かった訳では無かったので「本当に大丈夫かな？」と不安も感じていました。それでも練習で仲を深めたり助け合ったりして、最初の頃より遥に絆が深まりました。リレーでは最初相手チームより遅れていたものの、終盤で巻き返し見事にゴールすることが出来ました。「チームで勝つ」事の重要性、そして何よりそのチームでの喜びを知る事が出来た素敵な交流会になったと思います。



楽しかった全国大会

保戸田 健人

大会前にみんなで一生懸命練習に励みました。当日僕はリレーで5番員を担当しました。筒先にホースを繋げるときに時間が掛かってしまいましたが、相手を抜けて良かったです。また障害物競争では4番員を担当し失敗せずにできました、周りにはもっと早いチームがいてダメかと思いましたが、16位をとって本当に嬉しかったです。今回の大会に参加出来るのであれば出場し、今回の成績より上を目指したいと思っています。



初めての交流会参加 一仲間と踏み出した一歩



令和5年度

八王子消防少年団は昭和54年5月25日に発足し、今年で活動44年を迎えました。令和5年現在は、小学3年生から高校3年生までの119名と指導者58名で、月1〜2回程活動しています。基本的な訓練はもちろん、高尾山チャレンジと称した八王子独自の活動を通して、団員の持久力・体力・団結力の向上にも力を入れています。これからも一人一人の力を伸ばす指導を続け、地域の防災リーダーとなれるような頼もしい団員を育てていけるよう、活動が続けたいと思います。



未踏のチャレンジにありがとう！

指導者：坂本 隆宏

八王子消防少年団は初団以来、初めての全国交流会への参加となりました。2日目の全国大会競技へ向け、何も経験がない中、団員はもとより指導者も模索しながら創意工夫しながら夏休み中、選抜された団員と共に訓練を励んできましたが、惜しくも上位入賞を果たせない結果となりました。全国レベルの高さを痛感すると共に団員達にも新たな目標が芽生えたこと、何より他団体との交流を深められたことに感謝いたします。

経験を引き継ぐ

指導者：長谷川 貴子

八王子として初めて参加した交流大会ですが、指導者としても団員にとっても経験不足を痛感しました。競技が終わって団員たちから出た言葉は、次はこうしよう、もっとこういう練習をするべきなど、反省をしつつも前向きに経験を活かすためのものでした。普段の練習ではなかなか交流のない他のクラブ員の様子が見られたことも、参加団員にとっていい刺激になったようです。学校とは違う団体行動、競技内容ともにこの2日間の情報や知識を、参加できなかった団員たちとも共有し、さらなる研鑽をつんでくれることを期待しています。

次へ繋げる一歩目

長谷川 美貴

今回の米子での大会は4年ぶりの開催という言葉をよく耳にしました。実際私も出る予定だった大会が中止になってしまっていたので、リベンジできたことを嬉しく思います。競技は練習してきた成果を出すことができたと思っています。私個人でも団としても、初の参加でしたが、初回として良い結果だったと思います。また、普段交流することのない他のクラブの人達と活動することで、刺激を受けられたことも今回の成果です。来年以降は選手として出場しませんが、次の選手へ繋げていけるよう、前向きに頑張っていきます。



日頃の成果

長谷川 湊

初めて出場した交流大会は、あまり納得できる結果ではなかったです。練習不足、経験不足だと思いました。でも、普段の訓練で自信を持って取り組んでいる結案は、全国大会でも通用すると感じました。これからもさらに腕を磨きながら、来年出場する団員にも指導できたらと思います。



初めての全国大会

井浪 千佳

私は今回の全国大会が初めての出場だった。当日、八王子消防少年団の順番が近づく度に緊張が高まった。最初の競技、障害物リレーで私がアンカーだった。バトンを受け取り、ホースの結合はうまくいったが、走り出しでつまづいてしまった。だが、無事ゴールすることができた。次の競技は障害物競争。この競技ではホースの結合・結案等スムーズにできた。今回の経験を普段の活動や、またもし次に全国大会に出られることになったときに活かしていきたい。

六分の刺激と四分の緊張

田知行 あかり

初めて交流会に参加させていただきました。トラブルや緊張はありましたが、それ以上に他地域の団員たちと競い合い、交流することでたくさんの刺激を受けることができました。初めての全国大会でこの結果を残せたのはメンバーの力だけではなく、事前練習で指導者の方がホース巻きを手伝いに来てくれたり、メッセージで応援してくれたりとかたくさんの方の支えがあったからこそのことだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに来年の交流会に向けて日々の活動でも努力していきたいと思っています。



後輩へ繋ぐバトン

神崎 紅亜

昨年の大会に出る予定でした。しかしコロナにより、練習を開始する前に中止の連絡がきて、とてもショックを受けたのを今でも覚えています。今回の大会では、また選手に選ばれたからこそ自分の全力を出せるように訓練してきました。結果として上位に入ることではできませんでしたが、私の中では全力を出し切れたので良かったなと思いました。次回の大会練習が始まったら、経験者としてもっと上位入賞できるように選手のサポートをしたいと思っています。





全国大会を終えて



町田消防少年団は1978年に発足し、現在は小学校1年生から高校三年生までの42名の団員で活動しています。日ごろの活動では防災力を、野外キャンプや徒歩訓練では団員間の結束を深めています。全国交流大会に向け8月から訓練を重ね、準優勝という結果を残すことができました。この経験をこれからの活動にも活かしていきたいと思います。

団員同士の協調

指導者：細井 倫子

新型コロナウイルスの影響で自粛が続き、4年ぶりの交流会でした。懸命に目標に向かう子ども達を、指導者も熱い思いで皆で指導、応援してきました。目標を共有すること、練習を重ね努力すること、自らの考えを伝え仲間の意見を聞くことなど異年齢の交流、様々な経験をしました。今回の交流会で経験したことが、団員の更なる意識高揚につながったと思います。主催にあたり、準備、運営をしてくださった関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。

全国大会を終えて

薄田 ゆき

町田消防少年団にとって最高成績である準優勝を勝ち取れたことを本当に嬉しく思います。指導者の方々の温かいご指導に、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。はじめは全国で通用するのか不安でしたが、回を重ねるごとに上達を実感するとともに自信ができました。仲間と切磋琢磨して同じ目標に向かって進み、最後まで全力で走り抜けることができた全国大会は、人生の大きな財産になったことに間違いありません。これからも活動に積極的に参加していきたいです。



交流大会を通じて

今村 栄詠

今回の交流大会を僕は楽しむことができました。僕は前回大会に出場し7位だったので前回よりも高い順位でなければという思いで挑みました。そのためとても緊張していたのですが、1日目の交流会で他の少年団の方々と遊んだり話したりしていくうちに緊張もほぐれ充実した時間を過ごすことができました。2日目の大会本番では自分のやれることを全力でやりきり結果は2位でした。前回よりも高い順位で嬉しかったですが悔しい思いもありました。今回の経験を活かしてこれからの活動をより一層頑張りたいです。



努力の結晶

上岡 蓮

僕は全国大会のメンバーとたくさん走ったり、練習して、とても仲良くなりました。練習はきつかったけど、その時間が僕は好きでした。1日目の夜、他のチームの人たちと仲良くなりました。大会当日、リレーは補欠でしたが、応援するのも楽しかったです。障害物競争では途中で順調でしたが平均台で落ちてしまいました。悔しかったです。気持ちを切り替えてダッシュしました。チームのみんな速くて、びっくりしました。2種目の合計点は2位で少し悔しかったけれど、とても嬉しかったです。思い出がいっぱい出来たなと感じました。来年も出たいです。



全国大会

石川 一響

僕は全国大会のメンバーに選ばれて嬉しかったです。最初のころの練習ではあまりうまくいかなかったり、バトンパスを失敗したりしましたが、練習をしていくうちに失敗なくなりました。練習の中ではいろんな人と仲良くなりました。大会当日はとても緊張しましたが、失敗することなくできました。2つの競技の合計点数が2位で悔しい気持ちもありましたが、嬉しかったです。



ベストをつくした全国交流会

細井 貫大朗

僕は今回、交流会で学んだことが2つある。1つ目は協力する大切さだ。練習の時から、お互いに声をかけあったり、アドバイスしたり仲間と協力して練習に励んだ。思い通りにいかずに苦しい時もあったが、本番では練習の成果を出し良いタイムを出すことができた。仲間と成し遂げた達成感というのは特別だった。2つ目は感謝についてだ。指導、応援してくださった指導者の皆さん、署の皆さん、現地の方々。感謝しきれない。結果は2位で悔しい思いもあるがみんなで行った鳥取の楽しかった思い出は忘れない。



責任

梅澤 陸仁

僕は今回の全国大会で学んだことがあります。それは責任の重さです。今回の全国大会の競技である対抗リレーで、僕はホースボウリングをやりました。一見簡単そうに思えた種目ですが、ピンを倒さなければ5秒減点という責任重大な種目でした。日々の練習の中で「真ん中をめがけて当てる」というやり方をし、タイム測定などでほぼ確実に当てられるようになり、全国大会本番は全部のピンを倒しました。このような体験から、ホースボウリングとは微々たるもので、消防士の方々は日々、現場での行動に「大いなる責任」がのしかかっているのだな、と改めて学びました。



ありがとう鳥取！絆を深めた交流大会



秋川消防少年団は昭和55年に発足し、あきる野市・日の出町・檜原村の3市町村から30名の団員が集まり活動しています。今回の交流大会には小学6年生から中学3年生の6名で参加し、全員が初参加でしたが、限られた時間の中で協力し、事前訓練を重ね、チームの団結力を高めてきました。交流大会を通して全国の仲間と知り合うことができ、たくさんの貴重な経験ができたことはとても大きな財産となりました。この経験を今後の活動に活かしていきたいと思います。



全国交流会に参加して

指導者：川岡 和子

今回、大会まで十分な期間が取れなかった事と、資器材の不足で満足のいく訓練ができなかった事が悔やまれますが、全員が団結して競技に取り組み、最後まで頑張ることができました。大会では訓練の成果を発揮し、無事に競技を終えることができました。今回の大会を通じ、選手も指導者も良い経験ができ、次に繋がる一歩のなったのではないかと感じます。今後は活動に競技の内容を取り入れ、レベルアップを目指したいと思います。頑張れ秋川BFC！

二日間の思い出

菅原 春斗

僕はこの二日間で反省することと楽しかったことがありました。まず反省することは、大会でロープ結索をしたのですが、僕はロープ結索が苦手な本結びをやりました。練習はうまくいったのですが本番は緊張してうまくできませんでした。楽しかったことは、みんなで晩御飯を食べたり、大浴場に入ったり、遊んだりしたことです。すごくすごく楽しかったです。もし来年挑戦できるならまた行きたいです。



大会での経験

野々村 悠翔

大会に参加してよかったことは、交流が深まったことです。それと、目標に向けて仲間と一緒に頑張るということを学びました。練習したことを本番でいかせて嬉しかったです。大会での反省点はルールを読み込んでいなかったことです。今度は自信を持って教えてあげられるくらいに確認してから何かに挑戦していきたいです。今後の団活動に活かしていきたいことは、仲間と一緒に何かに向かっていくことと競い合っていくことだと思います。



良い思い出の交流会

谷川 実夢

消防少年団全国交流会に参加し、たくさんの県の仲間たちと交流できて良かったです。最初は緊張しましたが、やる気が湧き、ライバルと競り合う中で成長を感じました。反省点は、分岐金具を誤って置いて時間を失ったことです。もう少し慌てずに置くべきでした。この経験を生かし、チームワークや他者との交流を大切に、団活動を向上させたいと思います。障害壁の練習も反復し、上達しました。全国交流会は素晴らしい思い出となりました。指導者や消防職員に感謝の意を伝えます。ありがとうございました。



一つの目標に向かって頑張った大会を終えて

森田 眞生

大会に参加して良かった事は、みんなと協力しながら一つの事を頑張った事です。反省点は初めての旅行でみんなと一緒にいた事が楽しくて、夜中に少しうるさくしてしまって、まわりに迷惑をかけてしまった事です。大会の経験を活かすためにもこれから成長する後輩に指導していきたいと思います。大会に参加できてとても良い経験になりました。



目標に向かって頑張れた交流会

佐藤 菜摘

全国交流会では、チームが練習から団結してやりとげた事が一番の思い出です。私は正直面倒だったり、少し恥ずかしいと思うことはあまりやってこなかったけど、消防少年団に入り色々な事を経験していくうち、母から今年はチャレンジ出来る事があればやってみたらと励まされ、今回チャレンジしました。当日はホース結合が思うようにいかなくてとても悔しかったけど、そう思う事は交流会に向けて頑張ってきたからだと思います。チームの皆と教え合ったり、一つの目標に向け経験できた事は大きな事でした。これからも勇気を出してチャレンジしていこうと思います。



仲間との絆が深まった全国大会

石坂 尊

僕は初めて全国大会に参加しました。ふだん見ることの出来ない他のチームの技術、団結力が見れて、とても勉強になりました。僕はクラブ対抗リレーに出ました。バトンや分岐金具を落とさず、トンネル内も転ばなかったけど、もう少し早く走れていれば、もっと良かったと思います。今回順位は十五位でしたが、次回は十位以内を目指してがんばります。参加するにあたり大会前の訓練で仲間が協力し合い、助け合う事でチームワークが深まったと思います。今後の活動でも協力し、助け合い団員全員の絆を深めたいです。



一人一人の想いを、未来につなげる！



神奈川県横浜市消防局の任意団体として、2017年に発足。アメリカ式危機監視教育やSDGs、火災予防教育だけではない様々な経験を子どもたちに与え、先が読めないとされる現代社会を生き抜く力を育てます。



決意を新たに

指導者：奥田 悦子

「参加することに意義がある！」だけではダメなんだ…そのことを痛感した大会となりました。子どもたちに訓練の時間を十分に与えることができなかった、それは私の完全なる失敗でした。私も子どもたちも、この待ちに待った大会から多くのことを学びました。必ず、今後の人生に生かします。ありがとうございました！

思い出に残った全国大会

成瀬 朱里

今回2度目の大会で、個人的に前回よりも全力を出し切ることができました。5位までにのことはできなかったけれど、みんなで力を合わせて頑張れたのがすごくいい思い出になったと思います。自由時間にメンバーと海に行ったり、足湯を体験したりしてとても楽しかったです！



初めての全国大会

奥田 祐紀人

初めての大会でわからないことがあったり、やる事などがよくわからないままでの出場でしたが、そこはしっかりとできてよかったなと思いました。消防署で直々に教えてもらうことができて、しっかりと本番で出来たと思うのすごく感謝をしています。そしてその練習の成果を出せた大会でした。今回は貴重な体験ができて、これからの役に立っていくと思いました。



大会に参加して

小澤 心乃花

初めて消防の大会に出場することができて、とても貴重な体験になりました。最初はちゃんとできるかや、チームメンバーと仲良くできるかなど、不安でいっぱいでしたが、練習ではできることもあってとてもうれしかったです。メンバーともしっかり話せてよかったです。本番では始める前に少し緊張したけれど、力を出し切れればよいと思いました。本番では、自分がやることをしっかりとこなして、最後まで諦めずに取り組むことができました。私のとても貴重で楽しい思い出になったので、とても良かったです。



初めての大会

小川 真愛

初めての大会ですごく緊張したけど、自分のでる種目を精一杯がんばれてよかったです。他のチームの人たちの動きを見てみて、すごくキラがあつてカッコよかったので、もし来年も大会があったら積極的に行動したいです。



初めての全国大会

長谷 光莉

私は、初めて全国大会に出場しました。色々な都道府県のチームたちと交流しながら競い、たくさんのことを学びました。クラブ対抗障害物リレーではホースの部分を持ちながら、とにかく落とさないように思いながら走りました。指揮者では最後に手を挙げて知らせをするという役目があり、しっかりみんなが終わったことを確認して手を挙げました。今回大会に参加して様々なことが経験でき、来年の大会にも活かしたいと思いました。



全国消防クラブ交流会

鈴木 翔真

ぼくは、ついて一日目にかぜをひいてしまいました。一日目の夕食前クラブ紹介がありました。その時は緊張していたけれど、ちゃんと言ってすっきりしました。夕食はカニがあつて食べようと思ったけど、かぜであまり食べられずがっかりしました。だけど残りをゆっちゃんが食べてくれてうれしかったです。二日目は、けっこう元気で、朝食を食べれてうれしかったです。はじめはクラブ対抗リレーでぼくは出なかったけどみんながんばっていてすごいなと思いました。クラブ障害物競走は、ぼくが失敗してしまって悲しかったです。失敗してしまっただけ、楽しくできたので良かったです。



全国優勝を目指して



大和市少年消防団は、平成5年に創立し、今年で30周年となります。市内在住の小学4年生から中学3年生までの子どもたちが、火災予防や防災、減災について学んでいます。団体行動を通じて自助・共助の精神を養い、災害時には自ら考え行動する力を身につけることを目的に訓練を行うとともに、市民に向けて火災予防の広報なども行っている団体です。



未来の消防士

指導者：片山 拓也

交流大会への参加は団員にとって大変有意義な経験となりました。我々は「全国優勝」を誓い、訓練に臨みました。最初の頃は、思うようにタイムが伸びず、悩んだこともありましたが、団員達の創意工夫し訓練に励むその姿は、消防士そのものだと感じました。5位という結果に、嬉しい反面悔しさを滲ませていたが、どこことなく満足気な表情が印象的です。この悔しさや喜びを糧に、来年度は優勝を目指してほしいです!!

仲間を信じる

指導者：大内 晃子

今年は酷暑の夏となりました。この気象状況の中、会話が減り、集中力も持続せず、団員同士の意見の違いもありましたが、訓練を重ねてくるといつの間にかタイムが上がり、お互いのことを尊重し、お互いを受け入れる環境を子供たち自身が作りあげた結果が入賞5位に繋がりました。表彰台で名前が呼ばれた瞬間の子供たちの顔は輝いていました。指導者として参加させていただけたことを心から感謝するとともに全国のみなさんと繋がれたことありがとうございました。

重要なこと

小山 望叶

この大会で僕が感じたことは、勝敗も重要だが、それ以外にも重要なことがいっぱいあるということです。自分は東京の人や横浜の人との交流をしました。交流会という名のとおり、他のクラブの人たちも周りで話しているのでテンションが上がりました。1日目も2日目も話せる人を増やせて、他県との交流ができてよかったです。2日目の大会の日には結果入賞できましたが、それ以外にも大事なものを得られました。このような活動が今後もあると、新しいことを知れると思います。



練習あるのみ

梁瀬 健斗

僕は大会で多くのことを学ばせて頂きました。中でも一番の学びは、練習の大切さです。大和市は残念ながら5位でギリギリの入賞でしたが、優勝チームは他チームと比べものにならないほど練習していると聞きました。このことから、僕はどんなに弱いチームでも練習したら強くなれると思います。もし、来年出場する機会があったら、個人練習はもちろん、チーム全員で限界を超えるくらいまで練習したいです。ありがとうございました。



仲間との時間

佐藤 春樹

初めての全国大会出場ということで不安もありましたが、チームでの訓練を重ねるうちに気持ちが強くなり「勝つぞ」という思いで本番に挑むことができました。暑さや体調管理などで大変でしたが、仲間と精一杯力を発揮することができました。5位入賞という結果は、優勝を目指していた自分たちとしては悔しい思いもありますが、来年以降の後輩たちに託したいと思います。他県のチームとも交流することができて、有意義な2日間でした。

入賞だけが全てじゃない

岩田 萌仁香

私はこの大会に出場するにあたり、様々な不安がありました。当日を迎え、競技が始まり、仲間が頑張ってる姿を見て、自分も今までやってきたことを出し切って頑張ろう、そんな思いで実施しました。結果は5位で優勝はできませんでしたが、入賞できて嬉しかったです。私はこの大会に参加して学んだことがあります。それは、仲間と協力することの大切さです。お互いに協力できたからこの結果に繋がったと思います。また、他のチームの友達もできて充実した経験となりました。



全国少年消防クラブ交流大会

門田 花月

私は全国少年消防クラブ交流大会に出て優勝できるように練習しました。練習の前半は練習日であることを忘れてしまったこともありましたが、後半からは遅れを取り戻すため頑張りましたが、優勝できるか不安でした。大会が終わり、結果発表の時は緊張して立ってられないほどの気持ちでしたが、5位入賞と聞き安心しとても嬉しかったです。大会に出られて本当に良かったと思います。



新神田校下子ども消防クラブ

クラブの記録〈18〉 石川県金沢市



最高の仲間



当クラブは、平成15年6月29日に結成されました。毎年、小学4～6年生を中心にクラブ員を募集しており、現在クラブ員は小学1年生～中学3年生と幅広い年齢層となっています。今回の交流大会には、中学2年生2名、小学6年生3名の構成で参加し、金沢市消防局や第一消防団米丸分団の指導のもと訓練を重ねてきました。この経験を今後のクラブ活動に活かしていきたいと思います。



学びの場

指導者：石黒 佳恵・諸江 隆喜

今回初めて交流大会に参加させていただきました。全国から集まった他のクラブ員との交流は、当クラブ員にとって良い学びの場となりました。各クラブの紹介に関してポスターやダンスを交えた紹介と感心するものばかりでした。競技の時は、クラブ員が緊張しているように思いましたが、5人で力を合わせて考え、笑顔で取り組むことができ、練習の成果を発揮する事ができました。これからも交流大会で学んだことを、クラブのみんなにも伝えながら練習を重ねていきたいです。

感謝

若林 周蔵

今回の全国少年消防クラブ交流大会参加で、指導者の方々や家族、そして友達などに支えられているんだと改めて感じることができました。最初はまっすぐに投げられなかったホースボウリングは、指導者の方々に教えてもらうことによって、より正確にまっすぐ投げられるようになりました。友達とは暑い中お互いに励まし合い、諦めずに最後まで頑張ることができました。このように私はたくさんの方々にお世話になりました。感謝の気持ちを伝えたいです。



人々との出会い

若林 佐和

私は交流大会を通してたくさんの人と交流することが出来ました。大会では北海道から九州まで全国からたくさんの人が参加していました。こういう経験はしたことがなかったので、初めは凄く緊張していました。電車に乗る時に、初めて会う人と近い席になって、気まずかったです。でも、せっかくの機会だから話をしてみました。話を聞くと、私の住んでいる県とは全く違うこともあって面白かったです。他にも、大会中やホテルなどでもたくさんの人と交流することが出来ました。



僕とロープと仲間たち ～the best memory～

荒井 亮太郎

今回は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。初めてだったので、不安でいっぱいでした。だけど仲間たちと話していくうちに団結力が高まったと思います。参加する前に消防署の方に、ホースの転がし方やロープの結び方を教わりました。見ている時は、簡単そうに見えたけど実際にやってみると難しかったです。ロープ結索は、様々な種類の結び方がありました。教わった結び方を家でほとんど毎日練習して、交流大会に参加しました。交流大会は、ご飯が豪華で仲間と一緒にしゃべりしたり、楽しかったです。大会当日は、緊張したけど練習を思い出し、何とか成功させることが出来ました。

最高の思い出

荒井 果歩

この交流会ではとても良い体験ができました。障害物走やホースをつなげたりロープを結んだりしました。どの種目もみんなで協力して訓練できたので良かったです。また、メンバーと一緒に夜更かしをしておしゃべりをしたり、ご飯を食べたりして、とても楽しかったです。今回の大会では、協力するというだけでなく、友情や全く知らない人と話をしたり、競技をするということ学ぶことができ、とても良い体験ができました。ありがとうございました。



新しく学んだ事

山崎 愛

私が全国大会で知った事は、消防隊が大変なのは知っていたけど実際にやって見たら想像以上に大変な事。難しい事。命の為に素早く行動しないといけない事など詳しく知れた。とてもいい体験だと思った。色んな事がある世の中で、1秒たりとも見過ごしてはいけない事だと思った。ものすごく責任を持たないといけないと知った。これからは学んだ事をしっかり日常にかけていきたい。友達が来て楽しかった。



本物の体験活動



私たちの住む愛知県豊田市はトヨタ自動車が有名です。世界のトヨタというだけあって、市内をたくさんの車が走っています。その豊田市にある寿恵野小学校にはみんなに誇れる自然いっぱいのピオトープ、広い運動場、明りたくさんの仲間がいます。そんな環境の中で、豊田市消防本部の方や、豊田市末野原分署の消防士の方、地域の方の力をかりて、一生懸命消防訓練に励んでいます。

プロと地域、全国の仲間から学ぶ

指導者：永田 翔一

少年消防リーダークラブという存在を昨年度初めて知った。「ぜひやってみないか？」同じ学年を担当していただいた先生からそう言われ、興味本位で始めた。最初はわけもわからず参加していたが、「こんなに体験的なクラブ活動はない」と考えるようになった。プロの消防士から本物の知識や技能、考え方を学べる。地域の消防団の方たちと一緒に活動する。子どもたち以上に自分自身にとって実りあるクラブ活動であった。そして迎えた今年の少年消防リーダークラブ。昨年度は惜しくも新型コロナウイルスの関係でなくなってしまった全国交流会が開催された。普段のクラブ活動でも十分な活動が、全国から集まった志の高い仲間のおかげでさらに高まった。参加した子どもたちの目つきもガラガラしている。本当に参加して良かったと思った。ぜひ来年以降も続けていただき、積極的に参加させて頂きたい。

経験に勝るものはない

指導者：加藤 孝児

小学校教諭として、全国交流会に引率するのはこれが3回目だ。1回目、2回目、そして今回の3回目。変わらず思うことは、経験に勝るものはないということだ。この全国交流会には、学校の中では学べないことが詰まっている。全国のクラブ員たちとの交流、競技を通じた消防に関わる知識・技術の習得の機会、地域の消防署や消防団の方たちとのつながり。これらの経験が、これからの子どもたちの糧となることは間違いない。それだけの魅力があふれる全国交流会であった。



大会を終えて

廣田 峻史郎

僕が大会を終えて思ったことは、他の県の人たちと一緒に活動出来て、初めてあった人たちと一緒に全力を出せていい経験になったということです。他のチームの結束力も高く、ロープの結索や、リレーの速さもとても速かったです。でもいい目標ができたので、今回挑戦したことをこれからも続けて、日常に生かしていきたいと思います。



成長

飯島 雫

僕は少年消防クラブ全国交流大会に行って、同じ愛知県の尾張旭市のクラブの人と友達になれてとてもうれしかったです。また、クラブ紹介のときには、たくさんの人の前で話すことが緊張したけど、しっかり言えて、大きく成長できたと思います。競技でみれば、僕たちのチームは小学生、中学生、高校生合わせて37チーム中12位でした。全員で力を合わせて行うことができて、良い経験になりました。



初めての交流大会

ドゥムラオ ケイイチ

僕は交流大会に向けていつも張り切って毎日ロープの結索の練習をしていました。そして迎えた交流大会1日目。ホテルに着いた時、こんな大きなホテルに泊まったことがなかったので、とても興奮していました。2日目の競技会当日、緊張していましたが、なんとかリレーのアンカーで素早くロープ結索を行うことができました。障がい物競争も仲間と協力して、最後まで一生懸命取り組むことができました。今年のうちのいい思い出になったので、参加できてよかったです。



一番の思い出

川辺 朝陽

今まで学校のみんなと県外に行ったことがなかったから、緊張したけど、とても楽しかったです。1日目のホテルでの交流会、2日目の競技大会、全てのことが新鮮で、貴重な経験になりました。今回の全国交流大会で学んだことをこれからの普段の生活にも生かしていきたいと思います。



一番の思い出

栗原 克昌

少年消防クラブ全国交流大会での一番の思い出は2日目の合同練習(リレー・障害物競争)です。みんなとても緊張していて、迎えた本番ではうまくいかず惜しくも12位になってしまいました。しかし、全力であきらめずに最後まで頑張り続ける仲間の姿は、誰もがとてもかっこ良かったです。この全国交流大会は、僕の一生忘れない思い出です。



最高の仲間と



尾張旭市少年少女消防団は平成25年4月に結成し、現在、64名で活動しています。代表として参加した5名は、始めは少し緊張しておりましたが、全国から集まったクラブ員の皆さんから元気をもらい、いつも以上に活発に活動できた2日間であったと思います。この交流会でたくさんの人と交流し、みんなで協力して目標を達成した思い出や経験を生かし、将来の防災の担い手として、今後も頑張っていきたいと思っています。



団員たちの成長について

指導者：水野 英則

今回の交流会の参加を通して、全国各地の少年消防クラブ員と交流することができ、指導員、団員ともに非常に良い経験をさせて頂きました。一日目の交流会では、全国のクラブ員の個性あふれるクラブ紹介を見て、自分たちもいかに盛り上げるかを前向きに考えており、訓練では他のクラブ員たちと積極的に交流を深め、数年来の友人のような仲間になっていました。今回の経験は子供たちの柔軟さや強さを成長させたと思います。そしてその成長は将来の地域防災力の向上につながると信じています。

少年消防クラブ交流会を終えて

指導者：楠浦 崇史

今回、少年消防クラブ交流会に参加した5名は、一か月という短い訓練期間でしたが、大きな失敗もなく、訓練の成果を発揮してくれました。訓練だけではなく、初日の交流会により、全国のクラブ員と交流を深めることができ、貴重な経験ができたと思います。この経験を活かし、今後も将来の防災の担い手として、消防団活動に取り組んでほしいです。他のクラブの活動内容なども知ることができ、指導者としても学ぶことが多くあり、本市の少年少女消防団をより良い消防団にしていきたいと思えました。

交流大会を経験して

小澤 侑華

交流大会に参加して、消防に興味を持ち活動しているクラブ員と交流することができ、また米子市について学ぶ事ができました。私が特に印象に残ったのは、1日目のクラブ紹介です。各クラブ、個性がでており、地域の特徴を知ることができ面白かったです。2日目の合同訓練では入賞できませんでしたが、団結力が強くなったと思います。今回、貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



他クラブ員との交流

北村 凌一

交流大会では普段の活動では得られない学びが沢山ありました。VRシミュレーションは、とてもリアルに作られており、災害の怖さ、恐ろしさを感じ、またその中で自分達は何が出来るのかと、考えさせられました。交流会では他県の団員と、お互いの活動内容や地域の特色について話をしました。帰りの電車内でも他県の団員と一緒に、交流を楽しみました。とても楽しく色々なことが学べて、とても良い経験になりました。ありがとうございました。



チームワークの大切さ

若杉 紫乃

今回の交流会で、チームワークの大切さを実感しました。練習があまり出来ませんでしたが、それでも力を合わせて挑み、7位という嬉しい結果になりました。メンバーと指導員の方々のおかげだと思っています。他にも違うクラブの子達と交流でき、とても楽しく貴重な体験が出来ました。初めて鳥取県にも行けて最高の二日間でした。今後は、この交流会で学んだことを生かしなが、少年少女消防団員として、たくさん活動していきたいです。ありがとうございました！



交流大会を通して深めた絆

豊田 一心

僕が、全国少年消防クラブ交流大会に参加して良かったと思うことは、仲間と暑い中事前練習を頑張ったおかげで、7位になったことです。でも本当は、優勝したかったです。また、他県の人達と色々話ができ、友達になれたことも良かったです。この交流大会を通して、仲間とより絆を深めることができたと思います。それに、今回の経験をこれからの活動にいかしていけるといいなと思います。本当に楽しい二日間だったし、良い思い出になりました。ありがとうございました。



交流会で学んだこと

宮本 泰志

僕がこの消防の交流会で学んだことは、仲間との協力、チームワークです。リレー競技では、自分の競技が終わったあとでもみんな全力で応援していました。消防士は仲間との連携とチームワークがとても重要だと思います。この交流会の2種目は全員が一つになる種目だったので仲間を応援してお互いに頑張る大事さを学びました。この先社会に出たときに仲間との協力は欠かせないと思います。この交流会はそれをととてもわかりやすく伝えてくれたと思いました。



一生忘れられない経験を鳥取で



河南町ファイアジュニアは平成23年11月に発足し、小学4年生から高校2年生まで総員20名(令和5年4月時点)のクラブ員がいます。将来の地域防災のリーダー的な存在として活躍するため、消火訓練や消防行事に積極的に参加し、安全で安心なまちづくりの担い手として活動を続けています。今回の鳥取県米子市で開催された交流大会には、クラブを代表して中学2年生4名、小学6年生1名、小学5年生1名の男女6名が参加しました。



出会いと成長

指導者：浅田 真毅

4年振りの開催となった本大会は、指導者として初めて参加して、貴重な経験をさせていただきました。クラブ員が練習の成果を発揮して、全国の少年消防クラブのメンバーと交流している姿を見ると、改めて「出会い」の大切さを感じます。今回の経験がクラブ員の成長に繋がり、消防・防災や様々な分野で活躍していただけることを願っております。参加させていただき、ありがとうございました。

貴重な体験

西岡 蒼葉

鳥取に行く事も、競技に参加するという事も、初めての体験でした。最初はとても緊張していましたが、皆で行動しているうちにワクワクする気持ちに変わっていききました。現地では全国のチームが集まっていて「僕は大阪代表なんだ」という自覚が湧き、何だか誇らしいように思えました。次の日、僕は練習してきた事をすべて出し切り、達成感と団結するという感覚を味わいました。終わった後は全国の他のチームとも交流が出来て、同じ目標に向かって頑張る事は素敵だと思いました。この経験を通して僕の世界は確実に広がりました。



全国少年消防クラブ交流大会に参加して

寺田 偉登

私は、今回、初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。いざ大会が始まり最初のリレーで私は第一走者。障害壁のハシゴ登りで足をかけた瞬間にすべってしまい、相手との差があげられてしまいました。想定外の出来事でとても悔しくショックが大きかったです。次の障害物競争では、失敗した分を取り戻そうと必死で、上手くできて安心しました。今回の大会は、練習を通して協力と積極性の大切さを学びました。そして悔しい気持ちも残ったけれど楽しい思い出になりました。参加して良かったです。



協力してがんばった思い出

田中 木乃葉

今年、河南町ファイアジュニアでは、中学生4人、小学生2人、スタッフ1人で鳥取県に全国少年消防クラブ交流会へ行きました。今回が初めての参加だったので、途中で急いでしまったりミスをしたりしました。結果35チーム中25位でした。みんなでがんばって取ったこの順位は低いかもしれない、でもみんなで協力して取ったこの順位は、みんなの努力で取ったものだと思います。来年は25位よりもっと上位になれば良いなと思います。



なんだかんだ楽しかった交流会

家保 亮佑

私は、この交流会に出て、最初は正直行きたくなくて、とてもいやだったけど、いざ鳥取に行ってみたときに、移動中に友達としゃべっている時間とかすごく楽しくて、とてもいい時間をすごせて、競技前日の夜のご飯のときも、すごくたのしかったし、おいしかったです。いざ競技となるととてもきんちょうしていてガクガクだったけれど、やってみたらすごくおもしろかったけど、結果はあまり良くなかったのが反省点です。でも、今回の大会に出れてよかったと思うし、いろいろな経験ができたし、チームのみんなと協力することができたので、これからも、この経験を生かしてやっていきたいです。ありがとうございました。



協力した交流大会

木原 咲由希

私は、この交流大会に出るのは初めてで、少し大変だったこともありました。同じチームの人たちとたくさん協力できたことがとてもうれしかったです。合同訓練の結果は25位でした。少し失敗もしてしまいましたが、最後まであきらめず、頑張り続けてよかったと思います。そして、この結果を見て思ったことや経験したことを、他の活動でも生かして、より良い活動ができるように協力したいです。これからもいろいろな活動で役だつようにこの交流大会のことを忘れないようにしたいです。



消火器重い!!

佐藤 吏桜

大会では消火ホースを持って走り、ハードルを飛びこえ、障害物を乗り越えました。最後はロープを本結びにしてゴールです。ロープの結び方は色々種類がありますが、参加者の中で最年少の私は一番易しい結び方にしてもらえました。リレーでは消火器を持ちながら走りましたが、あまりの重さに落としそうになりました。他府県の消防団の子達とも交流でき、色々経験できて楽しかったです。来年は上位を狙えるように頑張りたいです。



感謝！ 令和5年全国少年消防クラブ交流大会inよなご



魚崎ジュニア防災チームは、神戸市立魚崎中学校にて2017年に募集を行う。最初は17名の応募があり魚崎町防災福祉コミュニティと共に活動してきた。現在は1年生から3年生、OB(大学生)と38名が在籍。チームの主体は『命の大切』であり、①「自分の命は自分で守る」こと、災害時には自分が犠牲になるのではなく、声掛けをしながら、②「率先して避難行動をとる」。③人と人、顔の見える関係を築く。④しっかりと勉強にはげみ、クラブ活動も行うことを基本としている。



さすが3年生、期待以上の力発揮！

指導者：明珍 信宏

今までこの時期は2年生までを主体に訓練などおこなっていたが、この度は3年生で編成、受験生活突入の時期で心配ではあったが結果、想像以上のまとまりと取組む姿勢に驚かされ、生徒たちに感謝！そして、大会当日は生徒たちにすべてを任せる。互いに助け合い、しっかりと目標に向かう生徒たち。結果は六位と入賞できなかったが生徒一人ひとり得たものは大きいと思います。大会にありがとう。

一度きりの特別体験

大住 悠斗

今回の大会に出て、とても心に残る良い経験ができました。昨年の大会“KOBÉ BOKOMIフェスタ”を少しでも生かせるようにしました。結果は六位でしたが、最後の活動に全力出せて良かったです。また友情関係も良くなったと思います。一度きりのこの大会の訓練を支えてくださった方、本当にありがとうございました。



全国大会を通して

神田 文哉

全国大会を通して分かったことは、思いやりです。なぜかという、一回目の競技でチームでたくさんミスが起こりました。だけど、終わった後、「ごめん！」というチームメイトに対し皆は責めずに慰めあっていました。六位という非常に悔しい結果となったけど、本大会を通して学べたことはたくさんありました。この経験を今後に生かしたいです。



貴重な二日

増田 夏月

今回の大会では六位という輝かしい結果を出したと同時にぎりぎり入賞できなかったという悔しい結果を出しました。しかし、今回の交流会では他のチームと実際に会ったり、米子市の文化に触れられたりとても良い経験ができました。これで最後の活動というのはとても悲しいけれどもこの経験を生かしてこれから生活しようと思いました。



全国大会をとおして

相見 悠人

私たちは、この大会に出場してお互いに競技として防災を競い合ったことで今までよりさらに防災意識を高めることができました。交流会の前夜や直前はみんなで励まし合うことで平常心を保つことができました。始め目指していた五位以内には入れませんでしたが、これをきっかけに仲間と助け合うことの大切さを実感することができました。これからは大会に出場した経験を生活に生かしていきたいです。



感謝

水口 飛磨

私たちジュニア防災チームは、神戸市消防局で指導の下、一生懸命訓練に励んできました。チーム一丸となって臨んだ今大会は六位という輝かしい成績を収めることができました。ご指導、引率くださった皆様、また、交流した全国の皆様、本当にありがとうございました。



一致団結 ～筒先に思いを込めて～



たつの・太子少年消防クラブは、平成18年5月に設立し、たつの市、太子町在住の小学4年生から6年生のクラブ員52名と、中学生のモデル生12名の総員64名で活動しています。今回の交流大会には、小学6年生5名で参加し、練習の成果を発揮することが出来ました。この経験を今後の活動に活かしていきたいです。



交流大会における成長

指導者：平形 俊樹

今回全国交流大会に参加したクラブ員生は、元気で他の県のクラブ員生と交流を取っている姿を見ることができました。競技では中学生等の上級生のいる中、練習の時よりも精一杯頑張っており、クラブ員の成長を日に日に感じることができました。合同訓練の結果も大事ですが、結果以上の大切なものを一人一人が持ち帰ったと思います、指導者としても得るものが多い交流大会でした。

～感謝～

谷口 煌羅斗

全国各地からクラブ員が集合し、大規模な大会でした。大勢の人の中で僕も一員として、クラブ紹介や競技に参加しました。残念ながら競技は上位になれませんでした。最高に良い思い出になり、自信になりました。他県の友達もでき、貴重な体験をさせていただいて感謝しています。最後にカニ！最高に良かったです。



全国大会にいったみて

石田 救悟

最初は緊張したけど、行ってみたら他の県の友達もできて、良かったです。夜は、温泉にも入って気持ち良かったし、夕食には蟹が出てきて美味しかったです。ホースボーリングの競技はむずかしかったですが練習を頑張ったので、倒れて良かったです。いい経験になりました。これからもこの経験を活かして頑張っていきたいです。



全力を出し切れた交流会

田中 絢斗

僕の交流会での思い出は、チームのみんなと協力して全力を出し切れたことです。入賞が優勝を目指して交流会に出場しました。入賞とはできなかったけど、全力でやりきれたことに自信を持って、これからもクラブを頑張りたいです。1泊2日で学んだことをこれからの生活や活動に活かして消火活動にも貢献したいと思いました。交流会で思い出がたくさんできたので良かったです。



楽しい思い出

宮本 瑠琉

1日目は、たくさん話をしたりご飯を食べたりして、楽しい思い出ができました。旅館では、みんなと一緒に寝れて嬉しかったです。2日目は、頑張ったと思ったら出来たので嬉しかったし、とても良かったです。僕の結核は簡単だったので、すぐに覚えられました。大会は緊張したこともあったけど、仲間のために全力で頑張れたと思います。また、クラブ活動で宿泊したのは初めてだったので、とても良かったです。



交流会に行って

木村 惺空

僕は、消防クラブの交流大会に行きすごく楽しかったです。行きは、会場に到着するまで時間がかかったので、とても疲れましたが、すぐにお風呂に入ってすごく疲れがとれました。次に食事は思っていたより豪華でびっくりしました。自分たちのクラブ紹介の時、一番最初に言えたのですごく達成感がありました。ご飯がいっぱいあって僕の好きな天ぷらがあったので、すごく嬉しかったです。終わってからまたお風呂に入ってサウナで九州から来たあいという友達ができました。終わったら部屋に帰ってアイスを食べた。朝起きたら朝ごはんがあって、多くて残りました。その後、バスで大会に行きました。最初は緊張していましたが、本番になったら頑張ろうと思いました。僕は4走でトンネルくぐりました。僕は、3走のきらとさんからバトンをもらった瞬間にトンネルに向かってスライディングしました。くぐるのは早かったけど、前の人たちがちょっとつまっていたので、負けてしまいました。悔しかったです。次はクラブ対抗障害物競走です。僕が結ぶのはブルージックでした。いつもは早かったけど、いざ本番になったら遅くなってしまいました。また負けてしまいました。閉会式の後の弁当がすごくおいしかったです。また出てリベンジしたいです。



初めての挑戦～第一歩～



米子市消防団少年消防クラブは、平成26年に結成され、現在は小学校5年生から中学校3年生までの16名のクラブ員が活動しています。今大会が初出場、さらに開催地ということもあり、大会では米子旋風を巻き起こすためにみんなで訓練を重ねてきました。その結果、入賞までは届きませんでしたが、笑顔で大会を終えることができました。今後もこの経験を活かし、地域の防災リーダーを目指し、クラブ員全員が団結して頑張っていきたいと思います。

初めての交流会

指導者：本田 卓巳

初めて全国交流大会に参加し、全国の少年消防クラブの現状や活動について知ることができ、子供たちだけでなく、自分自身も多くのことを学ぶことができました。今回参加するにあたり、地域の消防団の方にたくさんのご指導をいただきました。また、子供たちは今回学んだことが人の命を守ることにつながることを実感し、明日からの生活に役立てようとする気持ちが強く伝わってきました。本当に今回はとても貴重な経験をすることができました。

全国交流大会に参加して

指導員：中村 正吾

今回初めて全国交流大会に参加させて頂きました。他クラブ員の皆さんのクオリティーの高さにはビックリしました。初めての鳥取県米子市の開催でしたのでワクワクと不安がありましたが無事に終えて安心しました。選手は勿論指導者や他の団員さんにも訓練に参加して頂いて結束力も付いた様に思います。他のクラブ員たちにも今回経験した訓練や方法などを共有して今後の活動にも活かしていけたらと思います。来年度以降も参加出来る機会があれば参加したいと思います。



交流会に参加して

大西 健心

僕が全国少年消防クラブ交流大会で学んだ事は、災害時に使う道具の使い方です。特に消火器の使い方やホース展張、ロープ結索をよく学びましたが、中でも真っすぐホース展張をする事が難しかったです。これまで実際に使ったりする事がなかったけど、リレーや障害物競争などを楽しくする事でしっかりと使い方を覚えることができました。これからの訓練などにも活かしていきたいです。



全国交流大会感想

小笹 蒼空

今回の全国交流大会で僕は特に地域のわく組をこえ、全国で防災意識を高めるということを学びました。大会の種目等を通じ各地の消防団の方と仲を深め全国で防災意識を高める事ができました。また、大会前に宿泊した旅館では開催地が鳥取県だった事から各地の消防団の方に鳥取県の良さを知ってもらうことができました。食べ物や温泉など多くの良さにふれていただけてうれしかったです。大会で1位を取る事はできなかったけど防災意識が高まり、さらに地域の良さを知ってもらえたとても有意義な大会だったと思います。今回の大会で学んだ事はこれからの活動や次の大会で生かしていきたいです。



前に立つ人として

北嶋 孔英

今回、米子市で1泊2日で行われた全国少年消防クラブ交流会で自分が1番記憶に残っていることは、初日の地域紹介のスピーチです。当日にスピーチがあることを知り不安だらけだったのですが、前に出ていざ話してみると意外にスラスラと言葉が出てきて驚きました。いつも話す前に原稿を書くことが多いのですが、いきなりでも話すことができる、という自信にもつながりました。意外な自分の長所にも気づくことができ新たな発見です。この2日間は、自分にとって色々和良好的経験となり、思い出となりました。参加できて良かったです。本当にありがとうございました。

オリエンテーション

上田 綾

土曜日のオリエンテーションでは、一つの会場に全国から御越しいただいた、沢山の少年消防団の方達が集まって、自分達の地元の魅力について、語り合いました。同じ都道府県でも全然違う地域の魅力を語っていて、一つの県の魅力について沢山知れてよかったです。夕食も美味しく、お風呂も気持ちよくて、とても楽しめた一日目になりました。地元でもこんなに楽しめる場所があるんだなと改めて思いました。



緊張

安岡 流生

僕は、この全国少年消防クラブ交流大会に参加する事になり、最初は不安な気持ちだったけどチームのみんなと消防団の方にロープの結び方やホースの伸ばし方を教わり不安な気持ちはなくなってきました。前日の交流会が始まったら、緊張して明日の交流大会はどうなるんだろうと思いました。当日、クラブ対抗リレーではちょっとミスをしてしまったけれど最後までやりきれて良かったです。そして、障害物競争では、緊張のあまりハードルを倒してしまったけれど、最後のブルージック結びを素早く結べて良かったです。最後に、交流大会に参加してチームのみんなと協力する事や沢山の人の協力があつた事を学びました。



チームワークの大切さ ~友情と絆~



元宇品学区少年消防クラブは元宇品小学校児童の3年生から6年生で活動しています。元宇品学区少年消防クラブでは1年を通じて様々な活動を行っており、5月には下級生を引き連れて子供110番の家を巡回し、7月は神輿をかついで町内を練り歩きます。12月には夜まわりで町内に火の用心を呼びかけます。他にも1月には広島市消防出初式に出場し、鼓笛隊を披露します。今回の交流大会には、5年生1名と6年生4名の構成で参加しました。チーム全員での訓練は実施回数が少なかったのですが、各自で自主訓練を実施し、指導員及びクラブ員が一致団結し、ゴールを目指しました。



久々の全国大会参加

指導者: 岸 宏之

コロナ禍からの久々の大会の開催、関係者の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。今の時代に合わせた工夫などで苦労があったんだろうなと色々な場面で感じました。ありがとうございました。何より印象に残っているのが子ども達の元気いっぱいの笑顔です。

一生懸命に取り組む姿勢

指導者: 山本 和典

訓練や競技でのクラブ員の真剣なまなざしや、クラブ員各々が助け合いながらチーム一丸となり目標に立ち向かう行動に感銘を受けました。これからの学校生活や様々な場面において本交流大会で得たものを糧にして、様々なことに挑戦して行って欲しいと願っています。最後に、開催県の県民の皆様、消防関係者の皆様、大会運営関係者の皆様には事前準備や大会当日の進行などを円滑に進めて頂き、心より感謝いたします。

意外とうまく出来たBFC

山下 大輔

僕たちは、BFC全国大会でリレー障害物競走をしました。障害物競走では、すごく緊張しました。でも、うまく出来てうれしかったです。2種目はリレーでした。ボウリングは予想以上に倒れたので、とてもうれしかったです。意外といい記録だったのでびっくりしました。がんばって良かったと思いました。BFCは中学3年まで参加できるので、来年も参加したいですが、下級生がもっといい記録を出してくれたらうれしいです。



個人技能とOne Teamの大切さ

山本 湊来

私は、全国少年消防クラブ交流大会でとてもいい経験ができたと思います。チーム全員での訓練はあまりできなかったけど、自分たちで自主訓練をつみ重ねてきました。競技本番は、とても緊張していたけど、訓練の成果を発揮することができ、自分なりに良い結果が出せたと思います。これは、チームみんなで一生懸命、最後まであきらめずに協力したからだだと思います。今回の大会で、たくさんの人と交流できて、楽しかったです。



責任感

桑原 颯志

ぼくは、この大会を通じて色々な経験ができました。初めての参加でリーダーとして何をすれば良いかわかりませんでしたが、仲間が協力して助けてくれたのでうれしかったです。元宇品の代表として5人で参加し、みんなで優勝して帰ってきたけど、優勝できなくて悔しかったです。ぼくはリーダーとして責任を感じました。でも、みんなで参加できたことを嬉しく思いました。来年のチームには上位目指して頑張ってほしいです。そして同じようないい経験をしてほしいです。

五人の力(ちから)

西村 ひなた

私は、このBFC全国大会に参加して、皆で一つの事に一生懸命取り組む力が付きました。大会では、五人が一人一人の目標をしっかりと達成出来たので良かったと思います。私は、これからも色々な行事に参加して、色々な力を身に付けて行きたいと思います。皆で頑張ったからこそ、良い経験、思い出になりました。四年振りの開催に参加出来てとても良かったです。



BFC全国大会の思い出

上田 凌大

僕は6年生の中に1人、5年生で参加しました。「みんなの足を引っ張ってしまつたらどうしよう。」という気持ちでいっぱいでした。BFC全国大会に出てみて、消防士さんは障害物をかわしながら消火活動をするという大変な事をしているんだ、と改めて感じました。ロープを投げたり紐を結ぶ経験をさせてもらってとても感動しました。最後に、見た事もない障害物を華麗に避けていく6年生は本当にすごい!と感じました。



初めての全国交流会



私たち、青崎地区少年消防クラブは、南消防署青崎出張所の職員の方々の指導の下活動をしています。今回の全国交流会に出場するにあたって、地域の社協の方、消防団の方、他のBFCの方など、たくさんの方々の支えがありました。今回の全国交流会ではお世話になった方々へいい報告ができるように全力で競技に挑みました。



各関係者への感謝

指導者：武安 康恵

お忙しい中情報の提供・指導・練習の時間を計画してくださった南消防署青崎出張所の方、異動になられた子供達に携わってくださった方々、子供達の練習時間を1回でも多く作るために消防団の方、子供達の両親。そして、場所提供で地域の方々が協力していただきました。また、合同練習で府中町BFCの方々には貴重な時間を頂き、指導をしていただきました。私自身いい経験をさせていただきました。関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。また来年参加できたらよろしくお願いします。

最高に楽しい交流大会

竹村 咲人

この交流大会で一番心に残ったことは、二日目の合同訓練のクラブ対抗リレーです。本番では緊張して、障害壁で三点支持が出来ていたか分からなかったけど、みんなが「出来たと思うよ」と言ってくれたことが嬉しかったです。これからの生活に活かしていきたいです。共に練習してきた仲間たちと絆をさらに深められた交流大会は、僕にとって最高に楽しい交流大会でした。



予想通りの交流会

実本 新太

予想通り負けました。広島県府中町にタイムで負けた時点で負けは確信していました。ところが、半分より上の順位と意外と早くて驚きました。1位は埼玉県の三郷市なのですがトップ3には府中町が入っていますすごいと思いました。府中町BFCとは合同練習をしていたため、自分のことのように嬉しかったです。僕は、リレーと障害物競争の両方に出ました。どちらも全力で頑張りました。運動音痴の僕でも全力でやれば良い結果が出るので今後も全力でやろうと思います。



全国交流会を終えて

中島 健吾

全国交流会では、他の県の選手や幅広い年代の人がいました。その中で自分のことだけではなく、他のチームの手伝いをしたり、気にかけてたり、話しかけたりする人を見て素晴らしいと思いました。また、競技に出ない人も自分のチームの応援を一生懸命していて、交流大会にかける気持ちが見ているだけで伝わりました。とても楽しく良い思い出になりました。



仲間と協力した交流会

島川 翔

僕たちは、交流会に出るために夏休みや土日を使ってたくさん練習してきました。その中で、指導してくださった南消防署青崎出張所の方、消防団の皆さんにいろんなことを教わりました。慌てず、落ち着いてやること。みんなで声を掛けあい、足りない所をお互いに補うことです。本番では、これを頭に入れて頑張りました。思い通りの順位にはなれなかったけど、みんなで一緒に頑張ったので満足です。



初めての交流会

武安 竜樹

初めての交流会は緊張したけど、仲間とともに本気でこれまでの練習を活かした。他のクラブのメンバーと競い合っ互いの強さ、チームの良さを知ることができた。他のクラブの人とも交流ができ、仲良くなることができた。自分たちのクラブのことを発表するときに、言うことを考えてなくてクラブメンバーが助けてくれて嬉しかった。来年は、今年よりレベルを上げて日本の消防クラブのみんなに競技だけではなく、気合でも負けないように頑張って練習したいです。



楽しかった日

折居 朝日

自分は、青崎地区少年消防クラブで交流大会に出ました。自分たちは負けてしまいました。けど、一日目の仲間との移動がとても楽しかったです。自分にいい経験をさせてくれたなと思いました。また機会があれば仲間たちと優勝目指して頑張りたいです。その時には他の仲間たちもいると思うのでどんどんいろんな人との交流を深めていきたいです。バスの移動中に会った他のグループと仲良くなれたのは、青崎の仲間のおかげなので、次の交流会の時は、仲間の足を引っばらないように頑張りたいです。貴重な体験をありがとうございました。



比治山学区少年少女消防クラブ

クラブの記録〈27〉 広島県広島市



未来を背負う子どもたちと培われる活力



1981年12月発足。子どものころから防火防災に興味をもち自助をみにつけ地域の方々とともに何ができるのかを学びお祭りなど舞台で音楽活動しながら防火防災レポートをお知らせするなど地域貢献にいそしんできました。共助から協助へ。見えない支えに感謝できる人を育む場となるよう志している。



念願の米子大会開催

指導者：國澤 一世

米子で開催と聞いてから力が入った数年でしたがまさかのG7サミットで学校行事のずれ等でメンバーチェンジ、経験ゼロチームとなりました。訓練は想定以上に順調で全員揃っての訓練は一回でも後は当日の想定外とどう向き合うかでした。想定外を除き仲良く怪我無く帰路につけたことは開催地やスタッフの皆様のおかげです。部員たちそれぞれに経験を活かしつぎなる道へ進むことでしょう。

指導者としてかかわった大会

指導者：國澤 日和

初めて指導者として参加し、様々な学びがあった二日間でした。活動規制が緩くなって久々の交流会でコンパクトな内容でしたが、日本海を望む温泉に豪華な料理は素晴らしかったです。その場その場で知られることや、トラブルもあり驚いた点が多かったのが、自身としては、臨機応変な対応と、物事を予測する力を養いたいと思います。想定外が多かったけれど、クラブ員それぞれが、なにか得たものがあったのなら良かったと思います。

初めての全国少年消防クラブ交流大会

若松 浩志

はじめて参加で不安だったけれど友達と一緒にだったのでがんばれました。大会では分岐金具をもって走ってホースと結合させたりはじめてのことばかりで大変だったけれど、なんとかできてよかったです。皆で訓練し打ち合わせをかさねてがんばったので、10位以内に入りたかったけど、入れなくて残念でした。でも良い経験になったし、成長できたと思うので参加できてよかったです。



経験をバネに

三谷 昊拓

僕は初めて新幹線に乗り鳥取に行きました。宿について早速、競技の打ち合わせ。すぐに温泉入浴・交流会。夕食は大好物の蟹など御馳走で新しく仲間でも楽しく過ごしました。部屋で消灯・起床などの諸注意を聞いたあと親しくなった友達の部屋で楽しく過ごせました。がうっかりそこで眠って、競技でも折角練習してきたのにミスでチームにつなげられず寝不足が良くなかったです。ふりかえり、次へのバネとし又ぜひ参加したいです。



初めての経験

河野 奏煌

僕は、初めて「全国大会少年消防クラブ交流大会」に参加しました。初めての参加が全国大会という大きな舞台でした。練習で本物の消火器やホースを手にし動かすことも初めてでしたが、ロープ結束の「もやい結び」が一回でできたことが自信になりました。本番では、失敗もあったけど、このような貴重な体験をさせて頂けたことに感謝します。ありがとうございました。



貴重な体験

河野 琉空

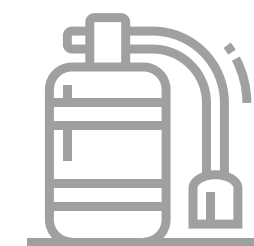
私は、高校三年生で初めて全国少年消防クラブ交流会に参加しました。コロナの影響で四年ぶりの開催でしたが、例年より対象学年枠が広がり高校生まで参加できるということで参加可能になりました。貴重な体験ができました。本番では練習通りにならないこともありましたが作戦会議や個々の特技を活かしみんなで協力して頑張れたことが良かったと思いました。



得られた力

山入端 奏太

ぼくが全国大会に参加して思ったことや考えたことは得られた力です。ぼくが得られた力は、一つ目はみんなとの協力だと思います。その理由はリレーでぼくたちは初心者で初参加だけど練習の成果を出して巻き返せたり障害物競争でも慌てず最後までがんばれたからです。2つ目は自信や勇気だと思います。その理由はみんなの自信や勇気があったからこそ冷静に競技ができたと思ったからです。



初めて参加した交流大会



昭和41年7月に発足し、今年度は2年生から6年生のメンバーで活動中です。防火防災について、楽しさを持ちながら知識と技術の向上に励んでいます。また、先輩達から受け継いだクラブ精神を、更に進化させ後輩達に引き継げるよう注力しています。



交流大会

指導者：清瀬 千恵

交流大会に参加して、子どもたちが他のクラブの子ども達と仲良くなり、色々話をしていた事が今後の活動に活かしていけたら良いなと思いました。

更なる飛躍を目指して

指導者：荻山 卓司

本大会に参加して実感したことは、一つ目に、参加クラブ員の皆さんにみなぎる圧倒的な自覚と誇り。二つ目に、将来の地域防災力の担い手となる皆さんの逞しさ、そして頼もしさです。今一度、私自身が初心に返るとともに、我がクラブ員と一緒に、「命を守るための行動」について取り組み、発信して参ります。

貴重な経験

濱田 成吾

障害物競争のブルージック(結索)は家でも練習をして本番でも早く出来ました。しかし、他チームはもっとスピードがあって正確で「凄いな」という気持ちと「悔しいな」という気持ちがありました。優勝には全然届かなかったけれど、仲間と練習をして本番を一生懸命やり切れたことはとても良い経験になりました。一緒に頑張ったチームのみんなと過ごせた時間はとても良い思い出です!ありがとうございました。



結索

近末 文翔

巻き結びをたくさん練習して早く結べるようになって嬉しかった



～夏の思い出～

中山 恭吾

僕は、この交流大会で心に残った事は、1日目のホテルとクラブ対抗リレーです。まず、1日目のホテルでは、他の消防クラブに積極的に声をかけて友達になれた事です。そして、就寝時間ギリギリまで人狼ゲームや話をしてとても楽しく過ごしました。僕は、消防クラブに入ってからこんな風に他の地域の人と交わることがいいと思っています。次に、クラブ対抗リレーでは、とても緊張して足がガクガクと震えました。でも、震える足をおさえて自分の番を待ちました。そして、ランキングはほぼ最下位でした。次回も行けたら、もっと練習して挑みたいです。

ブラボー合同訓練!

奥田 駿

全国のクラブの意気込みや、いつ結成されたのかが聞けたり、他県の子と友達になれたり、良い経験になりました。ホースボウリングは練習の時にピンが1本も倒れなくて、不安のまま本番を迎えたけど、本番では半分以上ピンが倒れて自分に自信が持てました。本番で少しハプニングも起きたので、後輩には合同訓練の雰囲気やコツを教えてあげたいです。そして自分も訓練で習ったことを忘れずに、これからの地域の活動で活かしていきたいです。



良い経験になった初めての交流大会

清瀬 樹

今回、交流大会に参加出来て、とても良い経験が出来ました。これからの活動に活かしていきたいと思いました。



全国少年消防クラブ交流大会初参加



市内の5・6年生を対象に公募で集まったメンバーです。防火・防災・救命の知識や経験を培い、家庭や地域を安全で平和な社会にしていけることを目的に活動しています。

ひろがりつながり

指導者：沖邊 裕樹

指導者含め参加することとなったクラブ員全員が期待と緊張の中、全国少年消防クラブ交流大会に初めて参加させていただきました。交流会で各クラブの趣向を凝らした紹介を拝見し、改めて交流大会の規模の大きさと歴史を感じ、とても良い勉強になりました。クラブ員たちも全国各地のクラブ員とすぐに打ち解けて、多くの仲間を作ることができていたように思います。世界をひろげ、つながりを作る良い機会を得るために、また参加させていただきたいです。ありがとうございました。

絆・全国の仲間

指導者：脇坂 康弘

令和5年度全国少年消防クラブ交流大会に初めて参加して、全国にこんなにも多くの同じ志を持つ仲間たちがいることに驚きと感動を覚えました。クラブ員同士が仲良く楽しそうに交流している様子も見て、とてもうれしく思いました。今後も全国交流大会出場を目指してクラブ活動に励んでいこうと決意しました。全国交流大会開催に尽力していただいたスタッフ、大会関係者、地元鳥取の方々へ、貴重な経験・ご縁をいただきありがとうございました。感謝!!



交流会で心に残ったこと

澤田 璃玖

僕が心に残っていることは、2つあります。1つ目は、1日目のクラブ紹介がはっきり発表できたことです。特に、最後の「絶対優勝するぞ!」という言葉に、一番心を込めて言ったことです。2つ目は、障害物競走とクラブ対抗リレーで、精一杯頑張った事です。最初は緊張しましたが、「1日目のクラブ紹介で絶対優勝するぞ!」と言ったから、優勝しない!」と思い、全力で取り組むことができました。これからも、この交流会を通して、今後の防火・防災意識を高めていきたいなと思いました。



次のメンバーへ

林 蓮也

僕はこの交流会を開催をしてくださった人たちに感謝の気持ちがいっぱいです。クラブ対抗リレーのときは第一走者だったので緊張していました。全力で走りましたが結果は93秒でした。障害物競争のときはもっと緊張して後半ぐらいからミスをしてしまいました。95秒という結果で30秒のチームもいたのでも悔しかったです。この経験を来年に出る人に伝えて優勝してもらいたいです。



交流でえた友達関係

山中 凌介

僕は、この交流会で色々な県の人達がいってドキドキしました。友達もでき友達関係も深まってとても嬉しかったです。この交流会で練習して来た事をこれからも活かしていきたいです。ただ、本番と同じような練習がもっとしたかったです。



クラブ対抗障害物競争

井口 優衣

私が令和5年度全国少年消防クラブ交流大会に参加して、一番心に残ったことは、クラブ対抗障害物競争でのホースを結合させる難しさでした。早いチームはあつと言う間に結合させていましたが、経験不足の私はどのようにしたらいいのかわからず戸惑うばかりでした。今後またブレイブのメンバーで全国少年消防クラブ交流大会に参加するときは、スムーズに結合できるようにしっかり練習して上位を目指したいです。



全国少年消防クラブ交流大会で学んだこと

椋 芽紅実

私は9月16日、17日に鳥取県米子市で行われた全国少年消防クラブ交流大会に初めて参加しました。私が今回の交流大会で学んだことは、仲間のみんなと協力することの大切さを学びました。仲間のみんなと協力してゴールを目指して行くのですが、ひとりひとりが協力する気持ちがないとゴールへは行けないと思いました。また、クラブ対抗の練習時にはトンネルを使用することが無かったので実物はどんな感じなのだろうと本番で緊張していました。本番ではバトンを持ちながらトンネルをくぐるのが難しく、トンネルの中でバトンを落としてしまいました。けれどみんなと協力してゴールすることができて楽しかったです。これからもこの経験を活かして生活していきたいです。



府中町少年少女消防クラブ

クラブの記録〈30〉 広島県安芸郡府中町



つなげ筒先！つなげ思い！～一致団結して掴んだ勝利～



当クラブは、1998年(平成10年)に設立され、25年間活動を続けており、現在は小学2年生から高校2年生のクラブ員30名と指導員、消防本部が力を合わせ、規律訓練や救助・救急研修など年間20回以上の活動を行っています。全国交流会の訓練は、7月初旬から2ヶ月半、週1回行いました。その結果、リレー3位、障害物競走1位、総合3位で終わることができました。この経験を、これからの活動に活かして行きたいと思います。



オーバーサマーサクセス

指導者：渋田 一茂

まず大会に向け2ヶ月前から保護者・指導員・事務局の協力のもと、練習を開始しました。当初は周囲の方が使命感を持って選手達にやらせる感があったものの、子供達は競技を自分のものに大会が近づくにつれ、次第に積極的・自発的に行動できるようになり、本番当日はその全てを遺憾なく発揮する、とても頼もしく成長した姿を見せてくれました。後進達がこの頼もしい背中を見て、成功ストーリーを継続してほしい。しかし連日凄く暑かった・・・

努力の先にあるもの

指導者：東 直輝

訓練時間は、午前中から昼までの一番暑い時間帯でしたが、指導員や保護者の方々の協力もあり、誰一人として不平不満を言わず、何度も何度も繰り返しがんばってきました。その努力の結果、本番では力を発揮することができたと思います。これからは、その知識や技術、経験を謙虚に人々に継承していきましょう。ほうとうに最高のチームでした。また、当日たくさんの応援に来ていただきありがとうございました。

3位入賞！

川口 悠真

府中町BFCは、過去の最高成績として全国4位という実績がありましたが、今回は全国3位という結果を達成できました。本当にうれしかったです。この記録は、全員が一心不乱に練習を重ねた結果です。そして、選手の家族や府中町の消防職員、そして指導員の方々のサポートがあったからこそこの成績を収めることができたと思っています。心から感謝を伝えたいです。これからも、防火、防災活動を通じて地域に貢献していきたいと思っています。



色々学んだ交流会

中井 雄大

今回の交流会では、諦めないことと、最後までやり遂げること、チームワークを良くすること＝結果につながる、ということを学びました。そして、その中でもチームワークは特によかったと思います。理由は、「レスキュー」といった掛け声などで団結することができたからです。今回の交流会の3位という結果もチームのみんなのおかげだと思います。良い経験をさせて頂きました。本当にありがとうございました。



チームワーク

川口 碧仁

この全国大会の訓練を通じて学んだことがあります。それは、チームで勝つためには心をつなげることが重要だということです。どうやったら早く次の人につなげられるか何度も練習しました。ロープ結索が苦手な人には得意な人がコツを教えました。タイムを縮めるためにはもっとこうしたらよいねと知恵を出し合いました。7月8月の暑い期間の練習は本当に大変でしたが、3位という結果が出せて疲れが一気に吹き飛びました。このチームワークを今後の行動にいかしていきたいです。

みんなが繋げた思い

小島 奈緒

私は、今大会が待ちに待った参加でした。3年前から参加を考えていたのですが、毎年延期になってしまい、参加を断念せざるを得ませんでした。ついに参加できて、とても嬉しかったです。私達は、2ヶ月間、必死に優勝目指して練習してきました。5人全員が揃って練習できる日は少なかったのですが、みんなが一致団結することができ、本番では今までで一番、思いの繋がった競技ができたと思います。素晴らしい結果が出せて、良かったです。



挑戦して良かった全国大会

松岡 咲季

私は、この大会でたくさんの経験をさせてもらいました。最初は、大会に出ようとは思ってなかったけどみんなと練習をしていく中で、だんだん気持ちが変わりました。そして、みんなと大会に出たいと思うようになりました。大会では、リレーの時、障害壁から着地した時に転んでしまい、悔しかったです。結果は3位でした。障害物では、練習の成果を発揮して1位でした。総合では3位で入賞出来て嬉しかったです。



かけがえのない経験・一生の思い出



美馬市少年少女消防クラブは、平成28年度6月に結成され、美馬市消防本部管内小学校の4年生から6年生の希望者で活動しています。年間を通して、規律訓練、消火訓練、防災研修などの様々な活動を通して防災について学んでいます。今回の交流大会で得た経験を活かし、今後も地域防災の担い手として頑張っていきます。



交流大会を終えて

指導者：藤田 悠輔

今回交流大会に参加してくれた子どもたちは、夏の暑い日に実施した毎週の練習にも参加し、一生懸命取り組んでくれました。その中で、別々の小学校から集まり、初めは互いにぎこちなさを感じていた子どもたちも、練習を重ねるにつれて協調性やコミュニケーションが生まれており、指導者として子どもたちの変化を感じることができ、嬉しく思いました。また、交流会では他のクラブの熱心な活動を子どもたちと聞くことができ、私も含め、子どもたちにも良い刺激になったと感じます。今回の交流大会の経験を活かし、将来の地域防災の担い手になりたいと目標を掲げてくれるクラブ員に期待して、今後も活動に取り組みたいと思います。

楽しかった思い出

大前 歌祈理

私は、みんなで夜食を食べたり、部屋で遊んだりして、とても楽しかったです。ホテルについてすぐにネギのマスコットキャラクターと写真を撮らせてうれしかったです。ホテル内も広くてとてもいこちが良かったです。大会当日は、みんなでえんじんを組んだりして楽しかったです。とくに、私がたんとうしてやった所が早くてみんなにほめられてうれしかったです。このような体験ができて本当に楽しかったです。



交流大会でのふれ合い

郷田 茉奈美

私は、交流大会で鳥取県に行って他の県の子とふれ合うことができました。交流大会で佐賀県の子と特に仲良くなることができました。他の県の知らない子と話すことは、とても楽しかったです。初日に、交流することができたので、みんなのことを知って大会に参加することができました。また、来年などにこのような交流大会があれば他の県の子と交流し色々な県の子と友達になりたいと思いました。鳥取県であった交流大会は、とても楽しかったし、いい思い出になりました！



交流大会に参加して

重長 志道

鳥取県米子市で開催された全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。美馬市から米子市まで車で行きました。ホテルに着いて、交流会では鳥取県知事や米子市の市長の話の後、食事ではカニが出てきておいしかったです。次の日は開会式、障害物競走等を行いました。全国から集まったクラブの仲間もたくさん参加していました。他のクラブの活動を見ることができて楽しかったです。なにもかもが、初めての事だったけどいい体験になりました。

交流大会に参加して

住友 杏加音

私は初めて大会に参加してとても不安でしたが、クラブ紹介などで他の消防クラブの方とも交流がもてて少しでも不安が減ってよかったです。大会本番は、思っていたよりもすぐ終わってしまいもうすこししたいなと思いました。他の消防クラブの方たちを見ていると、タイムが速かったり、ロープを結ぶのが速かったりしてすごいなと思いました。競技のこと以外でも大会の運営や水をくぼっている方もとてもやさしくしてくださり、きんちょうせず過ごせました。



緊張した交流大会

大谷 珈蓮

私は交流大会に参加するのが初めてだったので行く前とても緊張しました。けど、他の県から来ている人たちが声をかけてくれたり、一緒に大会に行った子たちも優しく接してくれたので本番はあまり緊張しませんでした。競技で失敗してしまっただけ、みんなががんばってくれたので次の競技がんばろうと思って全力でやりました。優勝はできなかったけどとてもいい思い出ができたので行ってよかったと思いました。



成長と思い出



高知県の南国市少年消防クラブは、平成26年に発足し、現在のクラブ員数は小学校4年生から高校生までの54名で活動しています。活動は、出初式や団の注水競技などに積極的に参加しております。今年は、キッチンカー主催の防災イベントや団の防災イベントから依頼され、小さな子供達に対して放水訓練のお手伝いを行いました。



クラブ員の成長

指導者：中村 之彦

全国少年消防クラブ交流大会に引率者として初めて参加させていただきました。怪我や病気も無く、無事に大会に参加でき、帰路に着いたことで使命を果たせたと思っています。今回の参加に対しては、クラブ員同士が知らない状況で、猛暑の中において練習が始まりました。練習を積み重ねていく中で、みんなが段々と仲良くなり、大会期間中の出発から帰路まで、以前からの友達のように喋っていたのが印象的でありました。競技では、緊張していたのか、本来の力を発揮できずに悔し涙を流していましたが、練習から本番までの集団生活の中で互いに励まし合い、また、気遣いながらクラブ員が成長しており、良い思い出となったことでしょう。このような経験や思い出作りを、他のクラブ員達にもさせてあげたいと思いました。

心身一如

指導者：辻 義之

今回、引率者として初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加いたしました。車で4時間程の道のりでしたが、出発からみんな仲良く元気に過ごしていました。ただ、ホテルに到着し1日目の交流会が始まる頃には参加人数の多さから少し緊張している様子が見られ心配していましたが、クラブ紹介で大勢の前で臆することなく堂々と話している様子を見ると、2日目の合同訓練に向けてみんなの気持ちが高まっているのを感じることができました。2日目の合同訓練では、これまで重ねてきた訓練の成果を発揮できるよう入念な準備を行い、心身一如で臨むことができました。訓練の合間には他地域の少年消防クラブと情報交換などの交流もできており、とても充実した合同訓練となりました。帰りの車の中では、訓練内容についての反省会などが行われ、次回は指導者として事前訓練に参加したいとの意見も出ておりました。出発前は、自分の訓練のことで頭一杯だったクラブ員達が、交流会を通して自分の経験を活かした指導を行いたいと思うまでになったことに、たいへん大きな成長を感じました。これからも、こうした活動を通してクラブ員達の成長の機会を作っていきたいです。

貴重な経験

門田 彩衣良

大会の練習や全国少年消防クラブ交流大会を通して、ロープの結び方やホースと筒先の繋げ方などをしっかりと学ぶことができました。大会では、少しミスもあったけど練習の成果を発揮していつもより良いタイムを出すことができ嬉しかったです。練習を始めたばかりの時はみんなと喋っていないかったが、練習の回数が増えていくうちに沢山喋るようになり、とても楽しい時間となりました。今回、貴重な全国大会に参加できて、良い経験になりました。この経験を活かし、防災などにもっと興味を持っていきたいと思います。



相手チームとの交流

横山 令來

9月16日、17日に鳥取県の米子市で全国少年消防クラブ交流大会が行われました。一日目は、クラブ紹介や地元の伝統芸能の鑑賞をしながら夕食を食べたりしました。クラブ紹介では各クラブによって行われていることなど、自分達とは違った取り組みがあって楽しそうでした。二日目の大会本番の日は、朝ご飯を食べた後、ホテルからどらドラパーク米子陸上競技場に向かいました。私たちが着いた時にはもうすでに沢山の人がいてすごく緊張しました。リレーでは、自分のレーンに立ったらもっと緊張して消火器が上手く使えませんでした。障害物競争では、ホース展張ともやい結びが早くできたので良かったです。結果、五位内に入るのは難しかったけど、自分達の納得のいくものが1回でもできたので良かったです。後、リレーで相手チームとなった本田消防少年団の方達と競技終了後に仲良くなったので良かったです。



チームの頑張り

岡田 悠汰

ぼくは全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。一日目は、南国市消防本部で出発式を行ってから出発しました。鳥取県米子市に到着すると、受付まで時間があつたので水木しげるロードに連れて行ってもらい、みんなで写真を撮ったりして観光できて大満足でした。ホテルでは、温泉に入り、カニが付いているご飯を食べて美味しかったです。部屋に帰ってきてからは、みんなと交流をしました。二日目は、全国大会の本番ではとても暑かったけれども、競技に向かって準備しました。リレーで自分たちの出番になるととても緊張しているのがわかりましたが、全力で走り、トンネルを滑ってバトンを渡しました。バトンを渡された時には前を走っていた隣のチームの人と、バトンを渡す時には同じくらいになりました。リレーでは、惜しくもそのチームに負けてしまいましたが、障害物競争では負けてなかったです。優勝はできませんでしたが、自分のチームは他のチームより頑張っていたと思います。

ホースボーリング

田村 祥万

僕は、9月16日に鳥取県の米子市で開催された全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。最初はすごく緊張しましたが、香南市の少年消防クラブのクラブ員の中に知り合いがいたので緊張が和らぎました。一日目の夜にはそのクラブ員と一緒に風呂に入ったり、部屋で遊んだりして交流ができました。大会当日、リレーは東京都葛飾区の本田少年消防クラブのチームと競い合いました。僕は、ホースでボーリングのピンを倒すホースボーリングの担当しました。結果は、負けただけ楽しかったのが悔いではなかったです。



前回のリベンジ

福岡 寛大

自分が全国大会に出場したのは2回目でした。前回、結さくでミスをしてしまったから今回はミスをしないようにしっかりと練習に取り組みました。本番では、リレーはミスすることなく競技を終わることができたけど、前回大会でミスをした障害物競争では、平均台を渡る時に練習では1回も落ちたことがなかったのに落ちてしまったので悔しかったです。しかし、結果は良いタイムを出すことができたので良かったです。自分は今回が最後の大会になるので、悔しい結果で終わってしまうことが心残りですが、このメンバーでこの大会に出ることができて、とても楽しい思い出ができました。



自分を守り 仲間を守り そして故郷を守るために・・・



「子どもが自分たちのネットワークを活かしながら防災に対しみんなが同じ知識を持ち、考え、行動できる」ようにとの思いから2016年に発足。その中で中心となるメンバーを海に面した町に住んでいる友達やいつもお世話になっている人たちが、南海トラフ地震などの困難を乗り越えるための船の乗組員という意味で「Ark Crew (アーク・クルー)」と名付けました。全国交流大会での経験を活かしこれからも地域のヒーローとして頑張ります！



指導者の想い

指導者：尾崎 新一

本クラブは、2019年度の大会に参加してから、今回で2度目となります。コロナ渦から解放されやっと今大会が開催されたこと、大変うれしく思います。待ちに待った本大会でした。大会に参加したクラブ員からは、全国の仲間たちと交流できてよかった。友達もいっぱいできたことと喜ばしい報告がありました。また、来年もこのメンバーで参加して、順位を上げたいなどの意見があり、指導者にとって本大会に参加してよかったと思いました。叶うなら、来年も参加したいです。

交流大会に参加して

指導者：田淵 直美

今回クラブとしては、二度目の参加となりました。子どもたちは真夏の暑い中、汗を流しながらたくさん練習をしてきました。合同訓練の本番では緊張する姿もありましたが、参加した五人のメンバーが支えあい励ましあいながら、精いっぱい力を出きって競技に参加していたと思います。思うようにいかなかったこともありましたが、悔しい思いをした分、次につながるように、これからも活動を続けていってほしいです。

みんなで頑張った全国大会

田淵 希々

私は、この大会に向けて、心に決めたことがありました。『一番の力を出すぞ!』と、強い意気込みを持っていどみました。しかし、本番になると緊張が勝って、ついつい足を引っ張ってしまいました。でも、そんなとき、周りにいた仲間たちのサポートのおかげで、最後まで笑顔で大会に参加できました。交流会では同じ高知県から参加していた南国市の防災クラブの友達ができて良かったです。



全国大会にレッツゴー

田淵 寧々

はじめての全国大会に出場する前から、みんなと協力し、楽しく帰るということを心に決めていました。そして、これが最初で最後の大会だと思って力を出し切りました。最初の競技では10位以内には入れなかったけど、二回目の競技の障害物競走で、みんな力をあわせて、いい結果を出すことが出来たので、「終わり良ければすべてよし」なので楽しく帰ってくる事ができました。



初めてだらけの経験

福井 羽汰

どんなものかも全く分からずに参加したい!と初めて行った鳥取県。色々な所から参加している人を見て、ちょっと緊張しました。自分では上手く出来たと思った事も、他のところは正確で早く、とにかく格好良かったです。出る事に意義がある!と思っていたけど、もっと練習しておけばと、悔しい思いが出てきました。次に参加できたら、もっと練習して1つでも上位になりたいです。全然考えた事なんてなかったけど、消防士さんっていいなあと思いました。



最後まで頑張った全国交流大会

福井 七海

夜には交流会が始まりクラブ紹介には、高知のよさこい踊りを私達は踊り皆が手拍子をしてくれて嬉しかったです。今回初めての参加で、練習の時から巻き結びを覚えられるかと不安がありました。大きなグラウンドに沢山の人で凄く緊張してお腹が痛かったけど、仲良くなった友達が応援してくれて、頑張れました。競技では失敗もなく練習より上手く出来たと思います。このチームで参加しいい経験が出来ました。来年もまた参加したいです。次は、上位を狙いたいです。



初めての全国交流大会参加

尾崎 翔太

大会のしおりを見た時に、昨年吉川町に視察に来た、広島県三原市の防災クラブのメンバーと、また会うことができるとうれしかったです。当日は、どこよりも先に会場入りし、一番風呂に入ることができました。また、交流会場では同じ県の南国市のクラブと同席だったので、すぐにうち解けて、夕食をわいわいと一緒に楽しむことができました。翌日の合同訓練では、自分を始めメンバー全員が一生涯懸命競技することができました。全国の仲間の競技力にびっくりしましたが、この大会への参加を機会にこれからも皆と一緒に力を合わせてがんばりたいと思います。



礼儀と元気を掲げチームワークを大切に！



私たち高見少年消防クラブは令和4年6月に発足したまだ若いクラブです。クラブ活動を通じて、防火・防災・救護の知識と技術を習得し心身共に健全な少年少女の養成を図る。さらに、クラブ員を通じて、家庭や地域の防火・防災・救護の意識の高揚と浸透を図ることを目的としています。クラブ員は小学校4年生から6年生の男女20名で活動しています。今回の交流会は小学6年の男子2名・女子3名の5名で参加しました。交流会参加に伴い、夏休みの間に何度も集まって消防士さんといっしょに訓練を重ね強い絆をもって交流会に臨みました。結果は上位ではないものの小さい体で訓練どおり出来たことに大変満足しています。大切な経験を今後のクラブ活動と学校生活に活かしていこうと思います。



色々な事が吸収できた全国大会

指導者：山崎 嘉武

初めての全国大会出場なので色々な意味で大きな期待を持って臨みました。夏休みの暑い中、小学校の運動場で一生懸命練習した消防の技術が全国大会でどれくらい通用するか心配しましたが、子供たちが練習した成果を十分発揮した結果、全国で立派に通用したことは大変うれしく思いました。次回は1位を目指して参加したいものです。また、全国の他のクラブの指導者とのクラブ運営などについての情報交換等、大変有意義な全国大会でした。

子供たち頑張りに感動！成長を実感！

指導者：小川 恵造

全国大会出場が決まり、本番まで2か月余りの期間にクラブ員全員の活動スケジュールの合間を使い出場者の訓練を行う必要がありました。実際の訓練は、夏休みに5回の計画を立てて実行に移りましたが、出場クラブ員は塾や部活、更には盆休みに家族と帰郷や旅行する子供もいて、全員揃っての訓練は殆ど出来ませんでした。それでも少ない訓練にもかかわらず各自が自分の担当をしっかりと習得し、最後の訓練日には目を見張る上達ぶりで指導者として、この成長には大変感動しました。

力を合わせて

村本 悠樹

全国交流会では、クラブ対抗リレーや障害物競走を高見少年消防クラブのチームの皆で力を合わせて頑張りました。夏休みの間に高見少年消防クラブ皆で練習してきた競技だったのでうまくやる事が出来たと思います。特に僕は指揮者だったので、号令をかける役目で緊張したけど、皆をまとめるために頑張ってやりました。あと新幹線に乗ったり、両親なしでホテルに泊まったり、初めての経験ばかりで緊張したけど、美味しいご飯と温泉もあって楽しむ事が出来ました。



頑張った全国大会

市来 心春

本番ではとっても緊張しましたが練習と同じように走ることが出来ました。1位になれなかったけど、いい思い出になりました。全国のみんなと一緒に対戦出来ていい体験になりました。そしてこんなにすごい全国のみんなの一員として参加出来てうれしかったです。練習の日が沢山あったけど、それを乗り越えて参加出来てすごく良かったです。全国大会に参加できたことを高見少年消防クラブとして誇れるようにこれからも頑張ります。



全国大会に参加して

片江 愛

クラブ活動の紹介を各県代表の皆さんの前で話す機会をいただきました。ホテルの広いホールに大勢の人がいる中では緊張して上手く言えませんでした。とてもいい経験ができました。大会当日は、一生懸命練習したロープ結索が上手くできました。チームで協力して練習の成果を発揮できて良かったです。他県の友達との交流も深めることができました。全国大会は、私にとって忘れない思い出になりました。



どきどきした全国大会

藤田 絢子

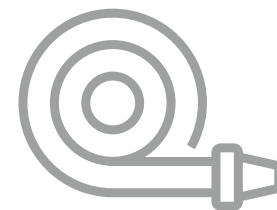
今までは消防のことに興味なかったけれど、全国大会を通して他県の人との交流や消防士さんの大変さを学び「いつもこんなことをしているんだ」と驚きました。1位になれなかったけれど、夏休みにみんなで一生懸命に練習してきた成果を見せることができて良かったです。また全国大会に行けることができたから、次は1位になれるようにもっと練習して頑張りたいです。全国大会で他県の人たちとも話したりすることができたり、その県の有名なものなども知ることができて良かったです。



たくさん練習して挑んだ全国大会

小田 智大

全国大会に行けると決まった時は、とても嬉しく胸が高鳴る思いでした。そして、高見少年消防クラブの代表として参加し、絶対に優勝したいと強く思いました。優勝に向けて夏休みの期間中、小学校の運動場で消防クラブのみんなと沢山練習に励みました。なかなか覚えられない部分について、市の消防士さんが親身になって指導してくれました。そのお陰で本番では緊張したけれども何とか間違わずに競技が出来ました。残念ながら優勝は出来ませんでしたが、全国のたくさんのクラブの人たちの前で練習の成果を発揮することが出来て、とても充実した大会でした。この大会を通して、命の守り方や共助について学ぶことが出来ました。これらの経験を今後の生活に活かしていきたいと思っています。



唐津市鏡少年消防クラブ

クラブの記録<35> 佐賀県唐津市



KARATSU



～5人の絆～



当クラブは、昭和55年5月に明朗で健全な子供を育成し、あわせて火災予防の普及及び防火思想の向上を図るとともに、地域社会に貢献できる奉仕の精神を養うことを目的とし設立しました。地域の協力、地元消防本部と消防団から指導いただき、規律訓練や消火訓練、応急手当等の救命講習など行い、小学4年生から6年生のクラブ員一丸となって取り組んでいます。



5人の仲間たち

指導者：中尾 文彦

唐津市で唯一の少年消防クラブとして、今回全国大会3回目の出場となり、日々の練習を頑張ってきました。当日競技を無事に終わるか心配していましたが、一人一人諦めず最後まで頑張っていました。チームワークの大切さを強く感じました。今後も、将来地域を守る人材を育成させるため、消防クラブ活動及び全国少年消防交流大会へ参加したいです。開催にあたり鳥取県の皆様、消防機関や関係者の皆様に心からお礼申し上げます。

絆

指導者：中尾 留美

久しぶりの全国大会参加で、競技練習を通じて、チームワークの大切さと競技への真剣な取り組みで、多くのことを学び自分達のポジションを最後まで諦めず達成したと思います。他のチームの友達もでき充実した全国大会になりました。将来は地域の防災の中心的なリーダーとなってくれることを期待します。

楽しかった交流会

脇山 慶汰

鳥取県で行われた全国大会に参加しました。交流会では唐津のアピールをしました。次の日はクラブ対抗リレーでは、トンネルくぐりをしたり、ロープのブルージック結び、ホース伸ばしと連結をしました。練習の成果で本番でもちゃんと出来て良かったです。いい結果は残せなかったけど、みんなと一緒に頑張れて良かったです。練習の時からお世話いただいた消防団の皆さん本当にありがとうございました。



楽しかった消防団交流大会

藤川 将治

少年消防クラブ交流大会1日目は、ほかの県のことがたくさんわかったし、唐津市のこともみんなに紹介することができて良かったです。熊本県の消防クラブの人から名刺をもらえてうれしかったです。2日目はクラブ対抗リレーの時、ぼくはホースボウリング担当でちゃんとピンを倒せたのでうれしかったです。クラブ対抗障害物競争では、慶汰君と息を合わせて全力を尽くせたので良かったです。この大会でチームの仲間と仲良くなれてうれしかったです。みんなでのりこえたので楽しい思い出になりました。



全国少年消防クラブ交流大会に参加して

田中 翔太郎

今回、全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。まず初日はホテルで食事をしながらの交流会を行い、「唐津市」をメンバーで紹介しました。いろんな地域の友達ができ、同じ九州の熊本消防クラブの友達もできました。2日目の競技は、たくさんの消防クラブが集まりました。僕たちは第一試合だったので、開会式が終わった後すぐに準備し試合にのぞみました。リレーでは自分のミスで遅れたけれど、タイムでは勝つことが出来ました。次の障害物競走は、あまりいい結果を出せませんでしたが、チームみんなで力を合わせた競技ができたと思います。今回、体験したことを含め小学生のいい思い出にし、多くの体験を活かして、頑張りたいと思います。

最後まで頑張った大会

大久保 慶美

私は初めて全国少年消防クラブ交流大会に参加しました。障害物競争ではホースの結合部分が抜けてしまい、リレーではホースをうまく転がせず、結果的にチームの足を引っ張ってしまったのでとても悔しかったです。でも、みんなと最後まで諦めずに協力してゴールできたので良かったです。また他県のメンバーとも交流する時間があり、仲良くなれました。今後も災害が起きたら、今回学んだことを生かしていきたいです。



全国大会に出場

瀬戸 藍

僕は、消防クラブの全国大会に出場して、とても楽しかったです。ホテルでの交流会では友達ができ、仲良くなりました。大会当日、僕はとても緊張しました。「クラブ対抗リレー」と「クラブ対抗障害物競争」の出番が、どちらも一番目だったからです。チームのみんながとてもがんばっていたので、僕もリーダーとして全力でがんばりました。今回の体験を、生活に活かし、これからも努力したいと思います。



貴重な体験・大切な財産



ひかり児童館少年消防クラブは平成17年に発足し、現在は小学生7名、中学生5名の計12名で活動しています。消防本部や地元消防団との交流を図りながら、地域の防災リーダーとして、防火防災の啓発に力を入れています。今回の交流大会には小学生2名、中学生3名が参加しました。

交流大会を終えて

指導者：陣内 英和

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、大会が中止になり4年ぶりとなる今回、コソコソと地元で活動を行ってききましたが全国の仲間と交流することにより大変良い刺激となりました。合同訓練では練習の成果を発揮できず悔しい思いをする子ども達もいましたが多くのことを学ぶことができ成長したように感じます。今回の大会で学び、体験したことを友達や仲間伝えより一層成長してもらいたいと思います。子ども達が今後地域防災の担い手として活躍してくれることに期待します。

これからに繋げよう

指導者：杉本 悟志

久しぶりの開催が決まり出場が決定したとき、子ども達はただただ全国大会に行けることがうれしくて、気持ちが浮ついていました。大会本番で練習の成果を発揮できずに悔しい思いをして、また他クラブの実技を見て、自分たちに足りなかったものを各々が感じていました。この悔しさをバネに日々の練習に取り組み、今回参加できなかったクラブ員に経験を伝えていってほしいと思います。



交流大会を終えて

陣内 央真

今回初めて大会に参加するので楽しみにしていたし緊張もしていました。交流会では、他のクラブの人とあいさつした後少し話しただけですぐに仲良くなれました。合同練習はドキドキしながらも練習の成果を出すため精一杯競技に取り組みました。大会に実際に参加して、また他クラブの演技を見て、自分たちにはなかが足りなかったのか、どのように改善していけばいいのかを考えさせられました。次の大会で今回よりいい成績を収めるためにこれからの練習に取り組んでいきたいです。



全国少年消防クラブ交流大会

米村 太一

まちにまった全国少年消防クラブ交流大会が行われました。全国大会のために毎週一生懸命練習しました。全国から37チームも参加しているのを見て、大会の規模に驚きました。合同訓練では僕たちのチームは優勝を目指して一生懸命走りました。リレーでは壁のぼりをしました。みんな一生懸命頑張ったけど、結果はあまり良くありませんでした。しかし「やったぞ」という達成感があり、みんなの顔は笑顔で満ちあふれていました。来年も一生懸命練習をかさね、今回以上の成績を収めたいです。



私の全国大会

大石 莉子

私は消防の大会に出たのが初めてでした。今回の大会のリレーで分岐金具を落としてしまいペナルティになってしまったので次の大会に生かしていきたいです。仲のいい友達もできました。夜ごはんの時に手を振ってくれたり、後ろの席の人が話しかけてくれたので緊張がほぐれ、たくさん話せました。来年も大会へ行けるようにたくさん練習をして失敗ないようにしたいです。



交流大会で学んだこと

中村 愛海

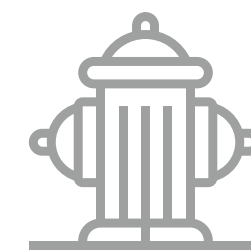
私は全国交流大会で思い出に残ったことが2つあります。1つ目はVR体験です。ホテルについてすぐにVR体験や防災動画を見ました。私は動画の自然災害が怖かったけど、色々な自然災害があることを知りました。2つ目は合同訓練のクラブ対抗リレーです。私は水消火器の担当で、たくさん練習しました。先生たちに教えてもらったことが本番で出来て、とてもうれしかったです。合同訓練では優勝できなかったけど、たくさん練習をしてみんなと協力し合ったことや、他の消防クラブの方たちと仲良くなって、とても楽しい交流大会でした。



全国大会へ行って

浦田 天真

僕は全国少年消防クラブ交流会でいろんな体験をすることができました。一日目では別のクラブの人たちに挨拶しかできず、もう少し話をするのができたらよかったです。少し残念でしたが、仲良くなれた人もいたので良かったです。二日目では、大会でした。自分の中では全力を出せたので満足できました。開会式からの緊張感などからこれが全国大会なのかと実感がわきました。他の人の動きをみながら自分では精一杯やっているつもりでしたが、他の出場している人たちはホースをつなげるのが早かったり、ロープを結ぶのが上手だったりでそういうのをみて上にはいるということを感じることができました。これからの練習をもっと頑張ろうと思いました。この全国大会に出場してたくさんの貴重な体験や経験をすることができてほんとに良かったです。これからもいろんな経験ができるように頑張りたいと思います。



仲間との絆が深まった交流大会



西瀬少年消防クラブは、平成28年に発足し、小学4年生から6年生まで総員16名のクラブ員です。消防署での学習会や住警器の普及啓発活動、消防出初式での通常点検披露などの活動を行っています。交流大会の経験を生かし、次の世代として防災を担えるように頑張っていきたいと思います。

有意義な交流大会

指導者：田中 栄治

合同訓練では、練習以上のベストタイムの成績を残すことが出来ましたが、また交流会では多人数の前で堂々とクラブ紹介が出来た事も、この子達の良い経験だったと思います。中には全国の各クラブ員のメンバーと友達になった子もいて、交流会の一番の目的を叶える事が出来たのではないかとうれしく思います。これから先、この子供達が成長していく中で、コミュニケーション能力は必ず必要になってきます。今回の全国交流会に参加できた事で、学校では学ばない大切な経験と体験が出来たと思います。ありがとうございました。

夏の練習をとおして

指導者：谷川 正晃

夏休みから始まった練習では、不安な部分もありましたが、次第に5人が一丸となって交流大会への気持ちが高まってくるのを感じました。スタート直前、練習では見せない引き締まった表情とやる気に満ち溢れていました。好成績も嬉しかったのですが、子供達の成長した姿を見ることができ指導してきた者として一番の思い出になりました。



交流大会に参加して

山口 良優

ぼくは、全国大会に向けて夏休みに練習しました。練習は、大変だったけど、大会のためにがんばりました。交流会では全国の少年消防クラブの人たちとご飯を食べながら、太鼓の鑑賞をしました。音がそろっていました。大会会場は広くたくさんの方がいました。ぼくたちは、リレーも障害物も競走負けてしまいました。とてもよかったけど、結果は勝っていてうれしかったです。この全国大会通して友達がたくさんできたと、クラブの仲間と協力できたからよかったです。



交流大会に参加して

松原 未来

私は、大会に出て、2つの競技とも今最高のタイムだったということが一番に残っています。リレーでは、緊張よりわくわくの方が強く、練習の時よりトンネルの下がすべすべとまどいましたが、自己ベストが出てよかったです。障害物競走では、緊張していましたがメンバーと話しているうちに緊張がほぐれ、練習の時よりもいい動きが来て、自己ベストが出せたので良かったです。このメンバーで、この大会に出場できて良かったと思いました。



交流大会に参加して

高木 来愛

初めてのことで暑い中の練習を考えた時、自分に出来るか不安だったけど、父も市の消防団で頑張っている事からすすめもあって、参加を決めました。難しい動作が多かったけど、力を合わせて、一生けん命がんばりました。大会当日は、朝からとても緊張し本番は頭が真っ白になりました。でも、今までの練習したことは体が覚えていたので、何も考えずにする事が出来ました。チームの団結がすごかったです。



交流大会に参加して

八木 朝香

私は、友達からさそわれて、今年から消防クラブに入りました。初めての練習に行くとき、何をするのかとドキドキしました。いざ、本番になると、たくさんの参加者がいてとても緊張したけど、みんな、練習の成果を出して、無事、2種目を終えることができました。タイム表を見に行くと、練習で出なかった数字が書いてあり、びっくりしました。たくさんのいい思い出ができ、頑張ってきたのでよかったです。とてもいい経験になりました。

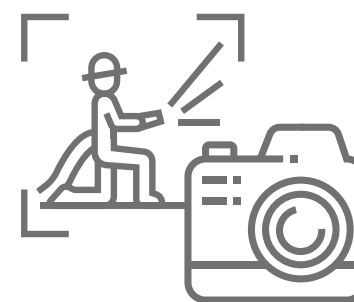


交流大会に参加して

田中 蒼人

僕は、初めての全国大会で、とても緊張していましたが、佐賀県や兵庫県、広島県の少年消防クラブの友達を作っていく間に緊張がほぐれていきました。クラブ紹介の文章は、みんなで新幹線や特急ののっているときに考えて紹介文にしました。リレーでは、練習の時よりもピンのおれる本数が少く練習の成果が発揮出来ませんでした。障害物競走では、メンバーにホースが引っ掛かり、ちょっと焦ったけど、ロープ結案で巻き返し、最後までしっかりやりとげられたので良かったです。





写真集





